

聖徒の道

SEITO-NO-MICHI

一九五八年三月十七日第三種郵便物
認可（毎月一回一日発行）
第七卷第三号 一九六三年三月一日
発行



末日聖徒イエス・キリスト教会

The Seito no Michi

Volume 7, March 1963, Number 3

In this Issue

A Prophet's Voice: The first great VisionPresident David O. McKay.....	134
President's Message President Dwayne N. Andersen.....	137
Mormon Doctrine (36):		
Priesthood Organization (in Mission)Brother Tatsui Sato.....	140
Your Question: What of the Dead who died before Jesus Christ?President Joseph Fielding Smith.....	143
Lectures on Faith (at Kirtland, Ohio) (5)	146
Priesthood Seminar at Tokyo Central Branch	149
Branch News	151
Mission Headquarters News	154
Aaronic Priesthood: Branch Teaching Lesson (for Mar.)	156
Genealogy Guide (for April.)		
Sunday School Guide for J. S. S. (for April.)		
Sundy School Guide (for April.)		
Hymns for Exercise (for April.)		
MIA Leader (for April.)		
Mission Mother's Message	172
Relief Society Lessons	174
Literature—Theology—Social Science—Visiting Teacher Message		
Work Meeting		
GOSPEL IN ENGLISH Sister Maren Mouritsen.....	191



聖徒の道

第七卷
第三号

一九六三年三月号

人質はあがなわれて

故郷へかえり

罪人はあがなわれて

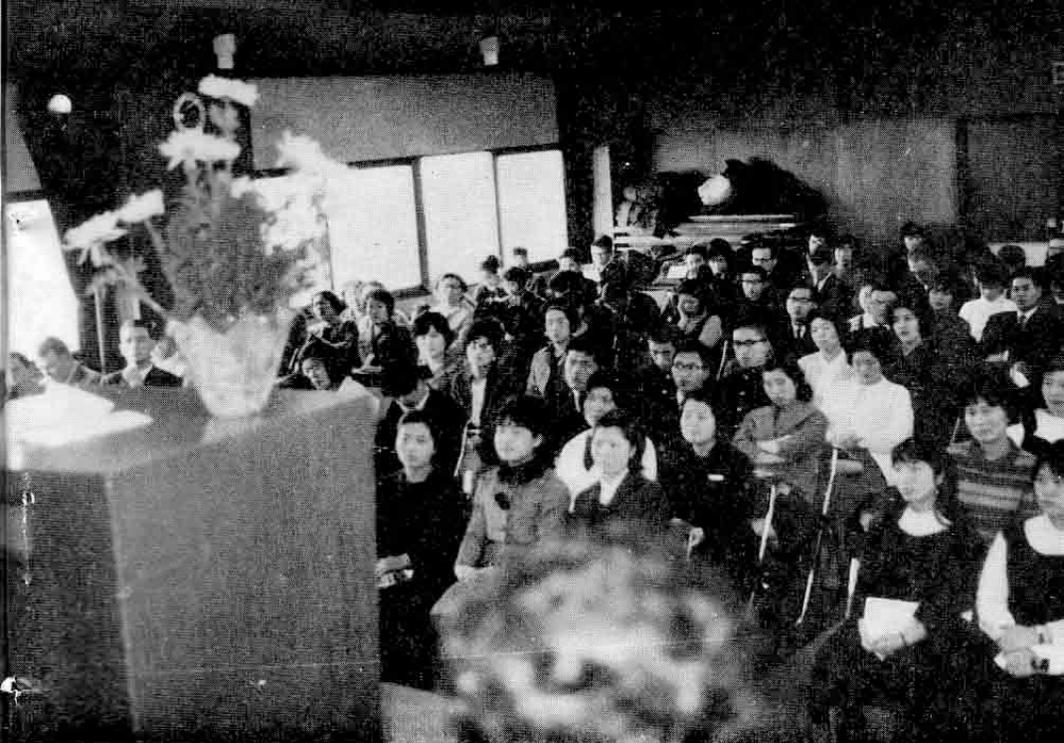
罪なき身にかえり

人間はあがなわれて

父なる神のみもとへかえり

地球はあがなわれて

楽園の状態へかえる



冬期大会



MIA大会は、ニーファイ第一書3章7節をテーマに「演説会」が開かれた。十二人の若い男女がそれぞれに信仰を基とした力強い調子の演説が開かれた。

取材、奥山兄弟（中央支部）

写真ニュース

モロナイ書十章四節をテーマに北海道地方部二月大会が、2月2日札幌市労農会館、3日婦人会館で開かれた。

一般大会、さしもの大ホールも宣教師をふくめた二百五十名の聖徒を集め、西島兄弟の司会のもとで開かれ、藤田、柳沢兄弟、アンダーセン伝道部長のメッセージが伝えられた。

午後の証会ではアンダーセン姉妹が視覚教材を使って話され、次いで会員たちの証会がはじまった。確信にみちた証しが、いつづきるともなく続けられた。



北海道地方部



沖縄地方部大会

(63年11月17日)

那覇市岸本ビル・ホールで開かれた。

MI A大会、那覇市中学校吹奏部員の音楽にはじまり、ダンスデモンストレーション、沖縄音頭の「与那国の猫か」（コナグニママーグァ）などを踊り幕を閉じた。

18日の一般大会で扶助協会のお母さんたちのコーラスがあった。はじめての試みで参加者は少なかったが、やさしいお母さんの愛がじかに感じられた。



12月12日、結婚式が行なわれた。地方部長の長領顕ご兄弟と那覇支部の平良弘子姉妹で大城朝次郎兄弟司会の下で盛大に行なわれた。





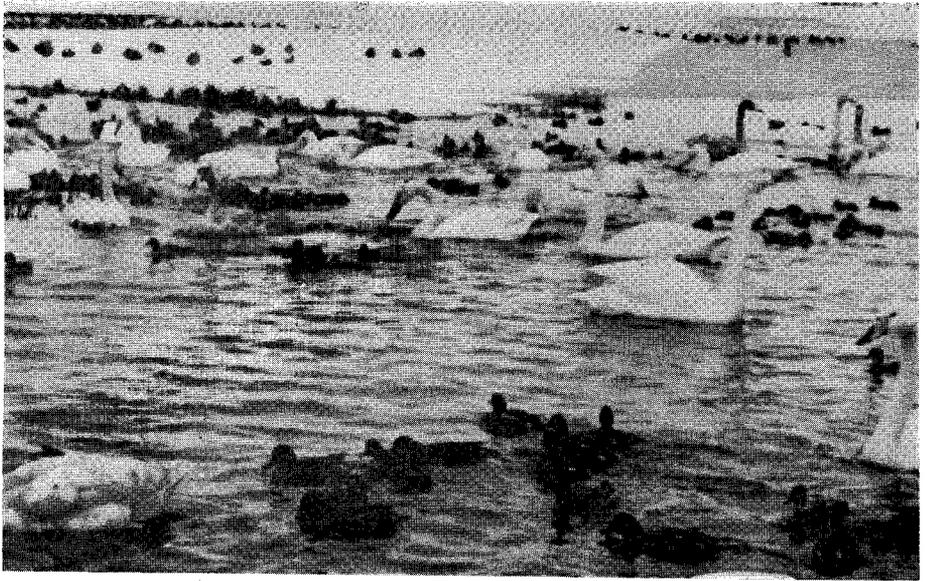
東京北支部

2月4日 福田正勝兄弟、喜多恒子姉妹の結婚式が、丹羽三吾兄弟司式、田中英男兄弟司会のもとで行なわれた。

旭川支部

毎年恒例の雪まつりにモルモンの神殿を出品した。これはこの神殿作りに活躍した宣教師たちである。





目次 聖徒の道 一九六三年三月号
予言者のことは

最初の偉大な示現

大管長 デビド・O・マッケイ……134
ダウエン・N・アンダーセン……137
伝道部長メッセージ

モルモンの教義(三十六)……140

神権者の組織 (伝道部に於ける神権定員会)

佐藤 龍猪

質疑応答

イエス・キリスト降臨以前に死んだものはどうなるか

ジョセフ・フィールディング・スミス長老……143

信仰講話

第三講 ……146

「信仰の目標(対象)」について



「神権ゼミナー」

東京中央支部

149

アロン神権ブランチ・ティーチング・レッスン (三月用)

156

メルケゼデク神権、第一長老定員会 (三月用)

157

系図の道しるべ (四月用)

158

子供の日曜学校ガイド (四月用)

160

練習の讃美歌 (四月用)

163

日曜学校ガイド (四月用)

162

M I A リーダー (四月用)

167

伝道部扶助協会長メッセージ ペギー・ヒュイシ・アンダーセン 173

ジョセフ・スミスの生涯 (6) (扶助協会文学用レッスン) 174

扶助協会レッスン 180

支部だより 151

伝道本部だより 156

英会話テキスト 191



予言者のことば

最初の偉大な示現

大管長 デビッド・O・マッケイ

汝らのうち、もし智恵の欠くる者あらば、惜しむことなく、また咎むることなく、すべての人に与うる神に求むべし、さらば与えられん。

ただし疑うことなく信仰をもて求むべし。疑う者は風に動かされてひるがえる波のごときなり。

(ヤコブ書一〇五一六)

ジョセフ・スミスは彼の住んでいた小さな町が信仰復興運動のためにひじょうなさわぎとなったとき、この約束の^{リバイバル}ことばを読んだ。このとき近隣で勢力をもっていた各教派は、自分の教会こそ、まことの教会であるという理由を告げしらせ、ほかの教会の信仰はまちがっていると大声できけんでいた。



少年ジョセフはこのとき、数ある教会のなかで、どれが正しい教会であるかをまじめに知ろうとしていた。明らかに、これらの教会は聖書のなかにあるいろいろな要点について意見を異にしていたので、中にはたしかに聖書と一致しない教えを説いている教会もあった。

ジョセフは人気のないある森の中へ入りこみ、自分のもっている問題の解決が得られるように祈った。彼の祈りはこたえられて「父なる神と御子」がジョセフにあらわれたもうた。

この最初の示現の中には二つのたいせつなことがある。その第一は、神は体をそなえたもう具体的な神であって、そのみこころを人間につたえたもうこと。第二はすべてのキリスト教会の信条の中に、当時「まことの救いの計画」がなかったこと、である。

ジョセフ・スミスがこの事実を世の中に宣言するや、その結果ただちに彼は宗教界から追放されたのであった。まもなく彼はまったく孤独であることに気がついた。

孤独である。その上に当時の学問も哲学も何も知らなかった。

孤独である。その上に科学芸術の素養もなかった。孤独である。彼を教える哲学者も、彼を導びく牧師も、一人も居なかった。

彼は単純な親切ごころで、この光栄ある示現の様子を伝えるためにこれらの人のところへ急いだ。ところがこれらの人は、そのようなことはまったく悪魔のしわざである。近代に示現だとか啓示だとかいいうことがあるものか。このようなことはす

に使徒の時代で終りになっている。もはやこのようなことはけっして起らないと言って、彼をあなどりあざけりすこしもかえりみなかった。

彼はこのようにして、ひとりのこされたまま宗教思想の大海へのり出すこととなった。彼は、航海をするためにすでに造られていたあらゆる船をすて、一隻の船もつくらず、または自分でつくった船を見もせずのり出したが、もし彼がさぎやかたりにあつたとしたなら、彼のつくることのできた船はほんとうにそまつな船であつたであらう。

これに反し、もしも彼のつくった船が、それより前の何世紀という間に、博識な教師や哲学者たちが世の人に与えていたものよりも優秀であるものをもっていたなら、人々はおどろきのあまり、すくなくとも「この男はその智慧をどこから得るか」と言わざるを得ないであらう。

そこで、ジョセフは孤独であるようにみえても、単にシナイの山に在ったモーセが孤独であつたように、またオリヴの山に居られたイエスが孤独であつたように孤独であつたと思われる。

主イエスは、あらゆる英知のみなもとである神から直接に指示をお受けになって、人間のつくつた媒介の手段によってお受けにならなかつたが、予言者ジョセフもそのとおりであつた。

ジョセフはこのように神から直接導きを受けたので、人々にむかつて自分の教えることは正しいと断言し、またすこしもおそれずそれを宣言した。ジョセフ・スミスは教義を教えるとき、いつも權威をもつてそれを教えた。それが人間の考えと一

致するかしないかは彼にとつて問題でなかつた。ジョセフ・スミスは時の教会の信仰や、時の人々が一般に採用していた標準に、自分の受けた指示が一致しているとかしないとか、または調和しているとかいないとかにかかわらず、自分の受けた指示をそのまま世の人々に与えた。しかして今日、百三十年以上も経た過去を見わたすとき、それはジョセフ・スミスの教えの優れてゐることを証明するよい機会と、彼に指示を与えたみなもとが神であると結論をするよい機会がある。

千八百二十年の春、ジョセフ・スミスが最初の示現を受けたとき、彼は十四才をこえただけの少年であつた。彼は当時学問も受けておらず、何の訓練も受けていなかった。それから十年たつて末日聖徒イエス・キリスト教会が組織された。そしてジョセフは三十九才にならぬうちに殉教した。

ジョセフ・スミスの教えが「救い主」とそのお弟子たちの教えによく調和していること、人が神に関することを執り行つためには神によって召されねばならぬという彼の主張に道理があること、その教会に見られる完全な組織、人類の必要とすることと進歩発展にとつてその教会制度と律法とがいかにもびつたりとしてゐること、以上そのほかこの偉大な末日のみわざのもつ多くの面は、その一部しかわかつてゐないときにも、思慮のある人々をして予言者ジョセフの知恵のみなもとがどこであつたか深く考えさせるのである。

ジョセフ・スミスのほかに、気高い抱負や力と人望とをもつていた人々が多くあつたが、みなその理想を確立するくわだてに失敗した。ジョセフ・スミスは神の靈感による英知にめぐま

れていた。兄弟ジョセフは、自分がこの神権の時代に、イエス・キリストの教会を立てるために全能の神から選ばれたということを知つてゐた。そして、パウロのように、この教会こそ救い、すなわち社会的の救い、道徳的の救い、霊の救いを得させる神の力である（ロマ書一〇十六参照）と宣言した。「神にける者は、神のいますことと、ご自身を求めめる者に酬いてくださることを必らず信する……」（ヘブル書十一〇十六参照）。

この聖句のなかに、ジョセフ・スミスが無名の一市民から世界に名高い人物となつた奥義がある。彼が神を信する信仰は絶対であり、彼が神の導きを信する信仰は固くて動かなかつた。

あなたがた教会員はまず第一に、この主のみわざの深い意味と広大無辺なことを理解する責任をもつてゐる。第二に、とくにあなたがたイスラエル（すなわち神の選びたもうた民）の青年たちは、現在の生活状態よりも一層よい状態を切望している、誠実なところをもつた無数の人々が任んでゐる世界へ福音をつたえる責任をもつてゐるのである。

伝道部長メッセージ

「一つの石が人手によらずに山から切り出され、その石が鉄と、青銅と、粘土と、銀と、金とをうちくだいたのを、あなたが見られたのはこの事です。大いなる神がこの後に起こるべきことを、王に知らされたのです」(ダニエル書二〇四十五)。

この石、すなわち神の王国がすでに立っている時代に生を受けて、その予言が成就するための働らぎに加わる特権を与えられるのはほんとうに感激ではありませんか。あなた自身はこの予言が成就するために働らいていらっしゃいますか。あなたは働らいています！私は先月、会員一人一人が建築計画にお金と時間とをささげることによって、どんなにこの大きな石をころがす手助けをすることができかねるかをほつきりお知らせしました。

このたび私があなたがたと一しよに考えたい第二の面は、私たち



伝道部長
ダワエン・N・アンダーセン

のもっているすばらしい福音のことはあなたの家族と友だちと隣り人とに分け与える働らきであります。このやり方はふつう「紹介計画」と言われています。世界中多くのところで私たちの教会がひじょうな勢いで発展をしているのはこの計画が行なわれているからであります。たとえば、スコットランドでは十八ヶ月間に会員数が千二百人から約一万二千人にふえ、ついにスコットランドにステーク部が組織されるようになりました。またこの「紹介計画」によってアメリカ合衆国、中部太平洋地区の宣教師たちはその活動に拍車をかけ、千八百六十二年中に一人の宣教師が導びいた改宗者の数は三十五人以上に達しました。これは新記録であります。もし私たちがかならずこの計画を実行するかくごさえすれば、これとおなじことが日本沖繩に起ることができるとし、また起るにちがいありません

この大きな石をころがす「かなめ」となるものは、末日聖徒イエス・キリスト教会の一人一人の会員であるあなたであります。あなたは神の誠命をことごとく守り行なって、正しいことを行なう力をつけなくてはなりません。それからあなたは、神が与えたもうたこの平和と喜びを心にもち、この業がまさに神のみ業であるという燃えるようなあかしをもってあなたの隣りに教えはじめなくてはなりません。

「われ再び汝らに告げて一つの誠命を与う。汝ら長老、祭司、教師また会員にいたるまで、あらゆる人々精力を尽しその手の働らきを尽して為すべきことを為し、わが命じたることを準備し且つこれを為しとぐべし。また汝らはすべて温和にしてへりくだり、皆ことごとくの人その隣人にとりて警めの声となる教えを説くべし。また汝ら悪しき人々の仲間より離れよ。己れ自らを救え。汝ら、主の器をもてる者は潔くあれ。誠に然り、アーメン」〔教義と聖約〕三十八〇四十一―四十二。マッケイ大管長も今日私たちに与えられているこの誠命を再び強調して「会員は一人のこらず宣教師」とおっしゃになりました。では、どのようにしてお互いに助けることができるか見てみましょう。もしも私たちがこころの底から福音を信じていて、福音の原則に従うことによって生ずるひじょうに大きな喜びを感じているなら、私たちはすでに福音を教えるそなえができていますので次の第一段階に入ることができます。

第一段階―福音をわけ与える人々を見つけること。

私たちは、新しい友だちをつくるためには積極的にはたらきかけるべきであります。人々に、あなたが「モルモン」であることを知らせて、福音によっていかに大きな喜びと幸福とがあなたの生活に

めぐまれているかを示しなさい。ほかの人々の模範になりなさい。そして、あなたの善い行いによってあなたの家族と友だちと隣り人にとりて福音の光をかがやかせなさい。もしも福音によってあなたが前よりも善い人になっているなら、あなたの友だちは福音の力を知りたいと思うにちがいません。

第二段階―「最もよい質問」をかけること。

「あなたはモルモン教会のことをいくらかごぞんじですか」
「もっと知りたいと思いますか」

あなたはこの二つの質問をあなたの家族と友だちと隣り人にかけるべきであります。あなたはこの「最もよい質問」を毎日できるだけ度々かけるべきであります。あなたの知っている人々の中には、福音のことばをぜひ聞きたいと思っている人がたくさんあります。これらの人に福音を聞く機会を与えて下さい。

第三段階―あなたと近づきになった人々に福音を聞く準備をさせること。

あなたと近づきになった人々にあなたのあかしをしなさい。そして、福音があなたの生活の中でどんなにたまたまになっているかを示して、福音に対するあなたの熱心をこの人々にもわけてあげなさい。また、もっと福音を知りたいと思うねがいをこころの中におこすようその人々の力になってあげて下さい。

第四段階―集団の集りをとりきめること。

あなたと近づきになった人々がもっと知りたいという考えを言いあらわし、またその人々が福音を聞く準備をする力になってあげることができたら、集団の集りに出るためにあなたの家か教会堂へ来るように招いて下さい。あなたは二人から六人までの友だちを同時

に誘うことができるでしょう。この人たちが集りに出ることができるよう、かならず前もって宣教師ととりきめをしておいて下さい。あなたの友だちや隣り人たちに、喜んで迎えられたと思ってくつろいだ感じをもたせるのはあなたの責任であります。親しいふんい気を出すために軽い飲みものや食べものを用意してもよいでしょう。

あなたは友だちに、わざわざ出て下さったことに感謝をあらわさなくてはいけません、それから開会の祈りをささげ、司会を宣教師にゆずりなさい。

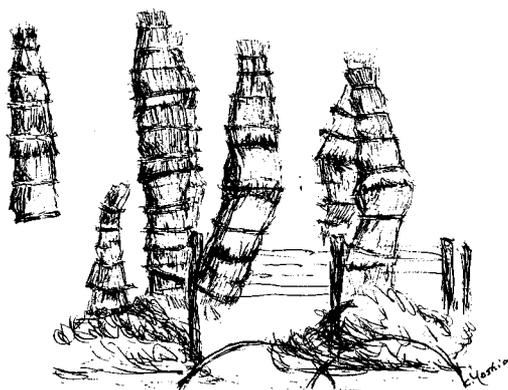
第五段階―終りまで世話をすること。

あなたは宣教師たちに次の会のとりきめをさせ、友だちと一しょに再びこの会に出席するように心せねばなりません。友だちの質問に答え、できるだけ度々はげましを与えて下さい。あなたの友だちが支部の集りに出て会員たちと知り合いになり、参加するのを喜ぶように気をつけて下さい。あなたの家族と友だちと隣り人を愛してこの人々を教会に入れて下さい。

この「紹介計画」はこれまでに試験を経て福音をわけ与える最上の方法であることがわかっています。それでありますから、あの大きな石をころがして全世界に満たしているのであります。この「紹介計画」を行なうに当たってぜひはっきり言っておかねばならないのは、あなたが誇りを以って友だちを教会活動につれてくることのできるよう、かならずあなたの支部がよく組織され強化されていなくてはならないことです。支部長会を支持し、一致と愛と信仰の感じを出して自分の役割を果すのは各々支部会員の責任であります。会員はみな種々の集りで積極的にはたらきかけて求道者と知り合いになり、この人たちに喜んで迎えられているという感じをもた

せるべきであります。あなた自身が、この教会へ入る前に宣教師たちから親切にされ心にかけてもらったではありませんか。現在および将来にわたしたちの教会について道を求める人々には、おなじ親切と礼儀をもって迎えてあげて下さい。宣教師たちは会員のみならずあなたの助けが必要であります。

あなた自身は、この「紹介計画」にとつてなくてはならないせつな要素であります。それでありますから、ここに述べた五つの段階を実行して下さい。あなたはその手をあの大きな石にかけて、それをころがすために自分の役割を果して下さい！今年の九月九日、マッケイ大管長がその第九十回の誕生日をお迎えになるまでに、日本と沖繩で二千名の改宗者を教会に入れるよう手をかして下さい！



「神権者の組織」(伝道部に於ける神権定員会) (三)

「教義と聖約」第一百七章

佐藤龍猪



一、定員会の財産。

長老、七十人もしくは大祭司の定員会は「収入を生ずる計画」を注意深く選んで実行するか、いろいろの寄附を勧誘することによって各自の基金をつみ上げることができ、しかし、普通と変った計画を実行するときには手をつける前に適切な勧告を求めるときである。いろいろな計画を実行して得た金はすべてグループの財産とするよりはむしろ定員会の財産とし、定員会がこの金を管理すべきである。またグループの行方「収入を生ずる計画」はすべて定員会が行う計画とみなし、すべての利益は定員会に入る。そのかわり損失は定員会が受けるのである。定員会の基金は次のような目的のために使われるのが正しい。

- (一) 定員会の事務もしくはグループの事務の運営と管理。
- (二) 宣教師たちと国内に居るその家族を必要な程度に援助する。宣教師たちに与える援助は必要な程度にとどめ、また支部長

地方部長その他の役員たちの了解と承認を得て始めて行方。神権定員会は自分の定員会に属する会員よりもほかの宣教師たちに援助を与える方が正しいやり方である。この際援助は定員会の会員の支持によって行方。

(三) 定員会の行方娯楽活動や運動競技の活動をするため。

(四) 基金に余りがあるときには、これを大管理長会宣教師基金に寄附をする。

二、定員会基金の管理。

定員会の基金を集めること、取りあつかうこと、使用することなどには多大の注意と知恵とを用いなくてはならない。集めた基金はこれを信用のある銀行にあずけて、臨時の支出のほかすべての支出は定員会の承認を得てから行わなくてはならない。また多額の支出をするときには伝道部長会と相談をしてから始めて行方。会計検査は毎年行い、ほかに定員会々長会がかわる度毎に行方。定員会基金について投機的の企ては避けるべきである。

また定員会の基金は、どのような形式の健康保険給付もしくは死亡保険給付のためにも使用してはならない。

三、定員会財産の分割

定員会が二つに分れるときには、この分離ができるようにするため長老を新しく聖任して総会員数を引きあげた場合、その長老の数だけを除去、そのあとの会員数の比例に応じて財産の分割をする。もしも土地家屋が含まれるときには、それを共同でもつように取りきめをしてもよい。現在の定員会が合同するときには、さき定員会の財産は自動的に新しい定員会の所有に帰する。

四、不動産の権利証書。

神権定員会は会社(法人)組織にしてはならない。定員会のものとなった不動産の権利証書は伝道部長会を通して処分し、伝道部長会はまたこの件を大管理長会に提出してその指示を受ける。

五、神権定員会の記録と伝道部への報告。

(一) 書記——伝道部の書記は、伝道部メルケ

ゼデク神権委員会の書記となることができる。この書記の責任は、伝道部長を助けて伝道部における神権定員会の記録事務を管理監督することである。この書記は、必要があるときには少くとも年に一回各地方部の地方部大会に出席して定員会の書記がその職責を果せるように訓練を施す。従って、これがために伝道部メンバーゼデク委員会の書記が出席する地方部大会においては、その地方部の神権定員会の書記が全部出席するような会を予定しておくべきである。

(二) 報告と記録——次に挙げる報告と記録用帳簿は大管長会から支給される。

M 4 (伝道部メルケゼデク神権委員会報告および議事録)

各地方部および支部から伝道部へ送る報告と記録は定められた用紙に記載してこれを送る。(詳細略す)。

六、メルケゼデク神権者の執行する儀式。

バプテスマと聖餐式の場合を除き、神殿以外の場所で執行する神権者の儀式には何ら一定した用語はない。バプテスマの場合と聖餐式の場合は定めてあることばを用い、一字一句の変更も許されない。すべての儀式は「イエス・キリストの御名と神権の権能」によって執行行われる。これらの儀式を執行行う神権者は、聖霊の導きを受けるにふさわしい生活を送り、儀式を執行行うに当っては、そのとき何が行われるかをはっきり言いあらわすことができるよう、また聖霊が示したもう考

えを言いあらわすことができるよう、最も適切なことばを用いるように努めなくてはならない。

すべてのメルケゼデク神権者は、教会が定めた方針に従って、次に挙げる諸儀式を執行行うことができるふさわしい神権者でなくてはならない。

(一) 小児の祝福と命名。

(二) バプテスマと確認の儀式。

(三) 神権を授与し神権の職に按手聖任する儀式。

(四) 灌油の儀式に用いるオリヴ油の聖別。

(五) 病める者に行う灌油の儀式。

(六) 墓地の奉獻。

神権指導者は、諸儀式を執行行うときに用いるものとして一定の形式もしくは祈りのことばを提案した刊行物の後援をしたり、奨励をしたり、または許可をしたりしてはならない。

諸儀式を執行行うときの指示は、伝道部長会の監督のもとに各定員会へ与えられる。

以上(メルケゼデク神権の手引き)「伝道部用」より)

アロン神権定員会

一、アロン神権定員会を組織する目的。

(一) アロン神権を保持するにふさわしい神権者たちが、その神権の権能を行使する完全な機会を与えること。

(二) ここに大体を述べてある、アロン神権を保持するにふさわしい神権者たちがすべ

てアロン神権に属する職の中で必ず昇進をするようにすること。

(三) 十二才に達した、もしくはまだ神権を受けていない十二才以上の忠実な男の会員がすべてアロン神権者に按手聖任され、またアロン神権に属する職の中で必ず昇進をするようにすること。

(四) 十二才以上の男の会員および教会の律法を守っていない不活発なアロン神権者について努力をして、それらの会員がすべてアロン神権者に按手聖任されるように備えをさせ、またはアロン神権に属する職の中で昇進するように備えをさせること。

二、伝道部組織。

伝道部長会は、伝道部の中でアロン神権者の活動を促進する責任がある。そのために、伝道部長は副伝道部長の一人をアロン神権定員会計画の責任者として任命するがよいのである。この副伝道部長が伝道部をまわるとき、彼はどの支部が次に大体を述べるアロン神権定員会計画を進めるのに充分な男の会員をもっているかをきめる。もしも伝道部長が必要と思うなら、記録をつけ報告をするための書記を任命することができる。

三、支部組織。

支部長会は、支部の中でアロン神権者の活動を促進する責任がある。

一人の「アドヴァイザー」と呼ばれる指導者を任命して、組織されたアロン神権者の各グループについて働きをさせる。この「ア

ドヴァイザー」は

(一) 毎週開かれる神権会のとときアロン神権者のレッスンを教える。

(二) 神権会に出てこないアロン神権グループの会員、およびグループの不活発な会員を訪問してはげましを与え再び活発にする。

(三) グループの中でまだ神権者に按手聖任されていない会員について努力をして按手聖任を受ける備えをさせる。

(四) アロン神権定員会計画を促進するための指示に従って支部長会を助ける。

必要な場合には、地方部長および伝道部長の要求する記録をつけ報告をするため一人の書記を任命することができる。

四、毎週の神権会。

組織された各支部では毎週一回神権会を開く。部屋が充分にあるなら二十一才未満の祭司、教師、執事は別々に集る。また出来るところでは二十一才以上の祭司、教師、執事はそれぞれ単独で集りをする。

五、アロン神権定員会とアロン神権グループの組織。

予言者ジョセフ・スミスに主なる神が下さった啓示には「われまた誠に汝らに告ぐ、執事の職を管理する長たる者の義務は、十二人の執事を統轄し、これと共に会議を開きて彼らにその義務を教え、すなわち誓約により与えられたるところに基きて互いにこれを啓発すべきものとす。…二十四人の教師を統轄し…四十八人の祭司を統轄し…その職に関する

義務を教うべし」としてある(「教義と聖約」百七〇八十五—八十八参照)。

しかしながら「祭司定員会」の会長として管理をする者は「監督」の職に在る者だけであるから、伝道部にある支部では「祭司定員会」を組織することができない。従って、支部に属する祭司は、一人の委員長と二人の副委員長と一人の書記で「グループ」を組織する

もしも二十四人の教師、十二人の執事、もしくは半数以上の教師や執事があるときには「教師定員会」、「執事定員会」を組織することができる。もしも、その数が半数をこえないときには定員会のかわりに「グループ」を組織する。

それであるから、もしも十三人以上の教師があれば一人の定員会々々長、二人の副会長、一人の書記を選んで「教師定員会」を組織することができ、十三人未満の教師があるときは二人の「グループリーダー」、一人もしくは二人の「副指導者」、一人の書記を選んで「グループ」を組織することができる。

七人以上の執事があるときには一人の定員会々々長、二人の副会長、一人の書記を選んで「執事定員会」を組織することができ、七人未満のときには「グループ」を組織する。

六、アロン神権個人賞。

十二才から二十一才の間の年齢のアロン神権者が、その神権者としての責任に忠実であるようにはげましを与える目的で、管理監督会は、一月から十二月までの十二ヶ月間に次にかかげる最小の要求を満す男の会員(アロ

ン神権者)に「アロン神権個人賞」を出す。

(一) 神権会の出席率六十パーセント以上。

(二) 聖餐会の出席率五十パーセント以上。

(三) 日曜学校の出席率五十パーセント以上。

(四) 祭司もしくは教師は神権者としての任務を少くとも二十四回遂行すること。執事は少くとも三十四回任務を遂行すること。

(五) 一年を通じて「智恵の言葉」を完全に守ること。

(六) 什分の一を完全に納めること。

(七) 集会で、会衆の前で少くとも一回以上話をし出すこと。

賞を出すときには、伝道本部から推薦用の書類をもらい、注意して必要な指示に従うこと

七、アロン神権支部賞

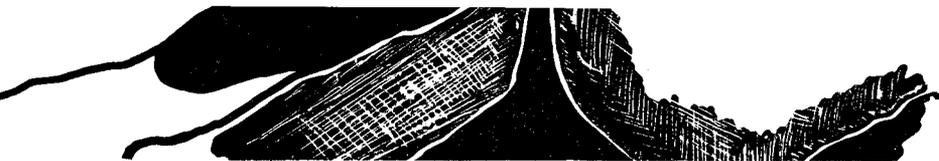
千九百五十九年以来、組織された各支部で二十一才以下のアロン神権者の五十パーセント以上が「アロン神権個人賞」を受けられるには「アロン神権支部賞」が与えられている。この特別な表彰状にはまず伝道部長の署名が入れられてから支部長へ送達される。この証明書は精巧に印刷してあって、額に入れて飾るに適している。

註。一年間を通じて神権会、聖餐会、日曜学校の出席率が(一)全部百パーセントであった者(二)以上三つの集会の出席率が最低九十五パーセントであった者(三)以上二つの集会の出席率が最低九十パーセントであった者には、それぞれとくべつの表彰が行われる。(「伝道部指導者用手引き」アロン神権」より)

イエス・キリスト降臨以前に死んだ者はどうなるか

質疑応答

解答者 ジョセフ・フィールディング・スミス長老



質問。

「モルモン経のモーサヤ書第15章に、救いの道を教えられなかったからその道を知らずに、キリストが降臨したもう以前に死んだ者も、救い主がよみがえりたもう時に第一の復活にあずかり、永遠の生命を受けると誌してあります。私たちは、これらの人がこの世に生きていた当時、福音のことは聞かなかったのに、どのようにしてまた何故に第一の復活にあずかり、永遠の生命が受けられるのか知ら、と思っておりますから、このことについて教えていただければ幸いです。」

解答。

この質問はアビナダイの教えに関連している。すなわちアビナダイは「それであるから復活が起る。これはすなわち第一の復活であって過去の人と現在の人とキリストの復活がある時までの将来の人との復活である。キリストとは御子のことを言う。さてすべての予言者とその予言を信じ神の命令を守ったすべての人々は、第一の復活の時によみがえる。そのよみがえるのはすなわち第一の復活である。これらの人々はよみがえって、自分を贖いたもうた神と共に住むことができる。このようにして、これらの人々は死の縄目を断ち切りたもうたキリストによって永遠の生命を得るのである。また救いの道を教えられなかったからその道知らずに、キリストが降臨したもう前に死んだ者も第一の復活にあずかり永遠の生命を受けると言った（モーサヤ書十五〇二十一—二十四参照）。

その先祖が罪を犯したために、福音がこの地上になかった時代のある時ある場所に生を受けたことのある無数の人々は、純粹な福音が宣言する標準によってさばくことができない。

異教徒の世界に住んでいる人々にも、聰明

勤勉で隣人に対して誠実な人が多くいる。しかし、これらの人は不幸にも、早いころ自分らに宣べ伝えられた福音を受け入れなかった人々の子孫として生れてきたので、邪神崇拜の社界で育てられた。主なる神は、主の予言者たちを通じて、子は親の罪に対して責任がないとはつきり仰せになった。父は子のゆえに殺さるべきでない。子は父のゆえに殺さるべきでない。おのおの自分の罪のゆえに殺さるべきである」(申命記二十四〇十六)。

人類は全地のおもてに散乱してから、ノアの教えから離れてしまった。邪神崇拜の世代が次から次へつづいて行つた。それにもかかわらず、これらの子孫の中には、もしも邪神崇拜をしないなら聰明な者が多く居た。彼らは先祖からの言い伝えによって偶像崇拜や偽の神を礼拝することを受け入れていたのであつた。これらの民の中には、エジプト人、ギリシヤ人、ローマ人、ペルシヤ人、そのほか以前から全地のおもてに散乱していた民の多くがいた。これらの民は各自の居た環境に対して何の責任もない。彼らはその先祖の教えに従い、アダム、ノア、アブラハムに教えられた尊い神の真理を知らずに生活し死んで行つたのである。

われわれは、自己の犯した罪に対して罰を受けると教えられていた。しかしながら、神の御子の使命について何も知らずに、無智のまま罪を犯した、無数の人々はどうなるのか。神の計画によれば、福音の真理はついに彼らに宣べ伝えられなければならない。聖典に「誠に主の声はすべての人々に及ぶものなれば、一人ものがる者なし。目として見ざるはなく、耳として聞かざるはなく、心として刺し貫かれざるはなし」(「教義と聖約」一〇二)と言つてあるからである。

それであるから、主は深いみめぐみによって、イスラエルはもろんのこと異教徒までも覺えたもうこと、またあらゆる人は正義によつて、正しい酬いを与えられることが解るのである。われわれは、生きていた時に真理を知らなかった者は、たとえその日が延ばされてその者が靈界に入った後のことになつても、かならず福音を教えられるにちがいないという保証を得ている。

われわれは、人々はその知らないことに対して罰せられないと教えられている。それであるから、アビナダイは無智のまま死んだ人々について次のように言つた。すなわち、

「主はかような者にも復活を与えたもう。これらの人は主に贖われて第一の復活にあずかり永遠の生命を受ける」と(モーサヤ書十五〇二十四)。

われわれは今までに、代々の人類は真理を知る特権と機会を得たことによつて審かれるにちがいないと教えられている。もしもある人が救いの計画について何ごとも知る機会がなかったら、まことにこの人は真理を知りながら真理に従うことを拒絶した人と同じように、肉体で行つた行為に対して責任をもたられるべきではない。真理を知らずに生きた無数の人々も、自分が教えられた教えに対して熱心でありまた忠実であつた。これらの人々は、熱心に信じもし教えも受けていたところのものを信仰と服従の念から行つた行為に対して責任をもたされるべきでない。さいわいにも、主なる神は人をその心の思いによつても、理解によつてもさばきたもうにちがいない。それであるからアビナダイが、主なる神は「救いの道を教えられなかったからその道を知らずに死んだ者」を第一の復活にあずからせたもうと言つたことを主なる神が為したもうのは、まったく

正義の問題である。すると、救いの道のわからないおきな見たちも、もしも死んだならキリストの血によって贖われるか、という問が起るのは当然である。聖典を見ると、これはまた律法なくして死んだすべての者の特権であると言っている。すなわち、

「すべての幼児と律法のないすべての者はキリストによって救われている」(モロナイ書八〇二十二)。

われわれは、主なる神があらゆることを永遠の正義の律法に従って常に行いたまい、無智のままに罪を犯し神の誠命を破った者を罰したまわれないと確信してもよい。人は神の誠命に従わないことに応じて罰を受けるが、このような神の命令を知らず、悪い気がなしに行ったときには罰を受けないということは、これまでに啓示されたうち最もかがやかしい真理と正義の大原則である。

アンモン、アロンおよび彼らの兄弟たちによって改宗したあわれなレーマン人たちのことを考えてみたまえ。彼らは改宗する以前に多くの重大な罪を犯し、何ら明らかな理由もなしに彼らの「敵」であるニーファイ人を殺した。しかし、真理の光が彼らの心をつらぬいてまことに心の底からへりくだって悔い改めたときに、彼らの罪はゆるされ、福音の光は彼らの心を照らしたのであった。

アビナダイのことはを読むとき、われわれが忘れてはならないことが一つある。それは、

「しかしごらん、あなたらは神の御前に恐れおののかなくてはならない。主は、主に逆らつて罪を改めないままに死ぬような者たちを贖いたまわれない。それであるから、あなたらは当然恐れおののかなくてはならない。世の始めからこのかた、わざと神にそむき神の命令を知りながらこれを守らず、罪のあるままに死ぬ者は第一の復

活にあずかることができない」ということである(モーサヤ書十五〇二十六)。



新潟——雪でおおわれた海辺に至る道(1月)

信仰講話



信仰の目標（対象）

第三講 つぎ

これは千八百三十四年から同三十五年の冬季
間、オハイオ州カートランドで行われた「長老
のクラス」で述べられた講話である。

- 一、われわれはこの前第二講で、神に関することをどのようにして人を知るようになったか、また神という御方が実際に在ることをどのような方法ではじめて人が思いついたかということとを述べ、また「生命と救い」を得るために信仰を集中することのできる唯一の御方としての神を信ずる信仰を實踐するものになるのは神の存在を知ることであると述べた。存在していなと思うている神に信仰を集中することはできない。まず第一に神が存在すると考えることが、神を信ずる信仰の實踐には欠くことができないからである。
- 二、「されどいまだ信ぜぬ者をいかで呼びもとむることをせん。いまだ聞かぬ者をいかで信ずることをせん。宣べ伝うる者（もしくは彼らに語るためにつかわされし者）なくばいかで聞くことをせん。されば信仰は神のことばを聞くによりて来るなり」（改訳聖書ロマ書十〇十四）。
- 三、さてここで、もしも道理を重んずる聰明な人間であるなら「生命と救い」を得るために、神を信ずる信仰を實踐するためには、三つのことが必要であることに注目しよう。
- 四、第二は神の特性と徳と性質について正しい考えをもつこと。
- 五、第三は人のたどる一生はその考えとところによるという實際の知識をもつこと、である。
- 六、われわれはすでに、神の存在という事実についてはもろろん、どのようにして神の存在という考えを人がもつようになったかその方法についても知らされたから、今は進んで神の特性と徳と性質についてしらべることにする。これはこのクラスで学ぶ者たちが「生命と救い」を得るために神を信ずる信仰を行なうのに必要な正しい基礎を理解するばかりでなく、神の存在を知っているほどの世の人もみな、生きとし生けるものの父なる神である御方を信ずる信仰を行なわなければならぬ理由を理解するためである。
- 七、われわれは神の存在という考えをもたせるため、まず第一にそ

の創造物に対して神自ら与えたもうた啓示のおかけを大いに蒙っているが、これと同じように、われわれは神の特性と徳と性質とを正しく理解するために神が与えたもうている啓示のおかけを大いに蒙っている。神がこれまで下したもうた数々の啓示がなかったら、人間は誰も研究によって神を見出すことはできないからである（ヨブ記十一〇七・八・九、コリント前書二〇九・十・十一）。

「しるして、神のおのれを愛する者のためにそなえたまいしことは、目いまだ見ず、耳いまだ聞かず、人のこころいまだ思わざりしところなり、とあるがごとし。されどわれらには神これをみたまによりてあらわしたまえり。みたまはすべてのことをきわめ、神の深きところまできわむればなり。それ人のことは、己がうちにある靈のほか誰か知る人あらん。かくのごとく神のことは神のみたまのほか知る者なし」。

八、今はこれだけにして、われわれはさらに進んで数々の啓示にあらわれている神の特性をしらべてみよう。

九、モーセは出エジプト記第三十四章六節に「主すなわち彼の前をすきてのたまわく、主なる神、主なる神、あわれみありめぐみあり怒ることおそくめぐみとまことの大きいなる神」と誌している。

また詩篇第百三の六、七、八には「主はすべてしえたげらるる者のために正しきとさばぎとを行ないたもう。おのれの道をモーセに知らしめ、おのれのわざをイスラエルの子らに知らしめたまえり。主はあわれみとめぐみにみちて怒りたもうことおそく、いづくしみゆたかにまします」とあり、また第百三の十七、十八には「しかはあれども主のあわれみはとこしえよりとこしえまで主

をおそるる者にいたり、その正しきは子孫のまた子孫にいたらん。その契約をまもりそのみさとしを心にとめて行なう者ぞその人なる」とあり、また第九十の二には「山いまだ成り出でず、汝いまだ地と世界とをつくりたまわざりしとき、とこしえよりとこしえまで汝は神なり」とあり、またヘブル人への書第一章十、十一、十二には「また、主よなんじはじめに地の基をおきたまえり。天も御手のわざなり。これらは滅びん、されど汝はつねにながらえたまわん。これらはみな衣のごとく滅びん。而してなんじこれらを上衣のごとくたまたまわん、これらは衣の如くかわらん。されどなんじはかわりたもうことなく、なんじのよわいは終らざるなり」とあり、またヤコブ書第一章十七節には「すべてのよき賜とすべての全き賜とは上より、もろもろの光の父より降るなり。父はかわることなくまた回転の影もなき者なり」とあり、マラキ書第三章六節には「それわれ主はかわらざる者なり、故にヤコブの子らよ、汝らは亡ぼされず」と誌してある。

十、また「誠命の書」（「教義と聖約」の前名）第三章二節に「神は曲れる道を歩まず、また右手にも左手にも曲らず、また宣べし事と違ふところなし。故に神の道は直くしてそのふむ道は永遠にかわらぬ一すじなり」としてあり、第三十五章一節には「主なる汝の神の声をきけ。神はすなわちアルパにしてオメガなり。始めにして終りなり。神の道はとこしえにかわらぬ一すじにして、きのうも今日もとこしえに同じなり」としてある。

十一、また民数記第二十三章十九節には「神は人の子のように偽ることはなく、また人の子のように悔いることもない。言ったことで行なわれないことがあるか。語ったことではしげないことがあ

ろうか」としてあり、ヨハネ第一書第四章八節には「愛なき者は神を知らず、神は愛なり」としてあり、使徒行伝第十章三十四・三十五節には「われ今まことに知る、神はかたよることをせず、いずれの国の人にも神を敬まいて義を行なう者を容れたもう」としてある。

十二、以上挙げた証詞から、われわれは神の性格について次の事を知る。

十三、第一に、神は世界の創られざる前から神であって、世界の創られた後も変わることなく同じ神であった。

十四、第二に、神はあわれみ深くめぐみあり、怒ることおそくいくしみゆたかにして、永遠より永遠にわたりその通りかわりたもうことがない。

十五、第三に、神は変わりたまわず、また回転の影もなき御方であって、とこしえに同じであって昨日も今日も永遠にかわることなく、その道はとこしえに変わることはない一すじである。

十六、第四に、神はまことの神であって偽わるることのない御方である。

十七、第五に、神は人をかたより見ることなく、いずれの国の人でも神をおそれ敬まい義を行なう者を受け入れたもう。

十八、第六に、神は愛である。

十九、道理をわきまえる人であるなら誰であつても「生命と救い」を得ようとして神に信仰を集中することができるためには、ここに挙げた神の性格の中にあるものを知ることがもつとも必要である。第一、もしもその人がこの御方が万物を創り万物を支えておりたもう創造主であると信じなかつたなら、この御方のほかにそ

の御方の計画をことごとくくつがえすことのできるもつと強力な者がありはしないか、またその者は異教の神のようにその約束を果す力がないではないかと思つて、「生命と救い」を得るためにその御方に信仰を集中することができないであらう。しかし、この御方が永遠から永遠にわたり万物を支配する神であり、万物を支えたもう創造主であることがわかれば、この御方を信頼する者の心にはけつしてこのようなおそれのあるはずがなく、この点迷わずに信ずることができるのである。

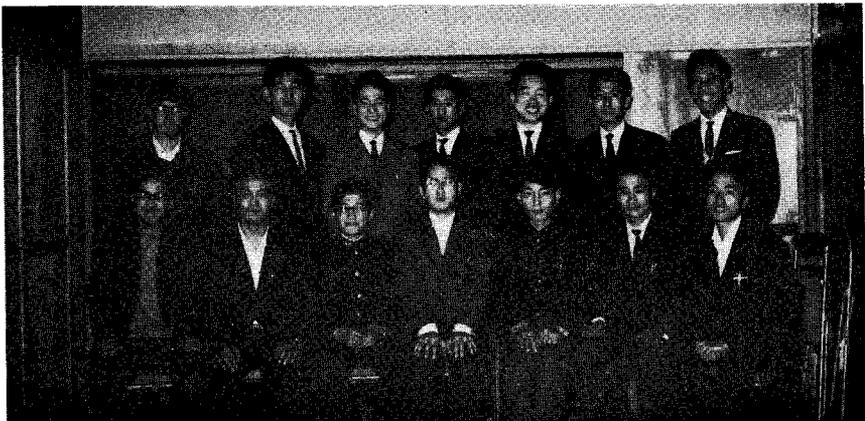
二十、しかし第二に、もしもこの御方があわれみ深くめぐみあり、怒ることおそくいくしみゆたかでないなら、このようなことは人間の通性である弱点であり、人間の弱さと不完全さはひじょうに大きいので、以上のような数々の徳が神の性格の中にあることを信じなかつたら救いに必要な信仰はあり得ないであらう。というのは、信仰のかわりに疑いが起こつて、自分の弱さと罪悪におち入りやすいことを知っている者は、その御方が怒ることおそく長く耐えしのび悔いる者をゆるす性質があつて、悔い改めるなら悪事犯罪罪悪をゆるしたもうという神の徳をもちたもうことを知つていなければ自分自身は救われるかどうか解らないといつも疑っているにちがいないからである。しかし、以上挙げたような徳を神がもちたもうことを知っている者には疑いの念が起こることなく、信仰をひじょうに強くするのである。

「神権ゼミナー」

昨年十二月の始め、東京中央支部で北部極東伝道部最初の「執事定員会」が組織されたときまさに歴史の一頁が開かれました。最初に望月安洋兄弟が定員会々長として特に任命され、次の週に若沢勝兄弟と武藤義一兄弟とが各々第一副会長、第二副会長として特に任命されました。この新しい定員会は神権をもっている兄弟たちを一層密接に管理することにより神権者の活動をひじょうに活気づけるにちがいありません。この「執事定員会」が組織されて、さきに中央支部で計画され成功裡に実行された「神権ゼミナー」開催の目標が達成されたわけであります。この「神権ゼミナー」は九月の半ばにその第一回を催おし十二月の始めまでつづけられました。この「神権ゼミナー」の得た結果は合計十八名の兄弟がアロン神権の執事に按手聖任されたこととであります。この間また神権の職の中で昇進をした兄弟たちがたくさんありました。す

なわち三人の兄弟が教師の職に按手聖任され、三人の兄弟が祭司の職に按手聖任され、また四人の兄弟がメルケゼデク神権の長老に按手聖任されました。この「神権ゼミナー」の結果として神権会の出席率が二倍になったときに、神権会の活気と活動はひじょうに改善されました。

昨年九月の始め、支部内の神権者を強める必要を感じたので「神権ゼミナー」というアイデアを考え出しその計画を立てて次のように実施しました。まず中央支部で神権をもっていない兄弟の大部分をこの会に出席するよう招待して、神権を受けるのに必要な努力をするように提議し、また神権を受ける資格をつけるために力をつくして誠命を実行する機会とはげましを与えました。この「ゼミナー」は隔週六回つづきの会でありましたが、その一回をダワエン・アンダーセン伝道部長が受け持って、出席者に神権に関する講話を



行い自分の証詞をしてはげまされました。伝道部長のほかに、テッド・ブライス兄弟、ペギー・アンダーセン姉妹、吉野洋太郎副伝道部長、今井一男地方部長等がこの会に出席して各自の経験を語り証詞をつけ加えて下さいました。以上の集りはできるだけ霊的の集りであるように計画し、その上に「タバナクル・コワイヤ」の録音を聞かせたり、出席者が讚美歌をたくさん唱ったりしました。また教会歴史にあらわれた画期的事件のスライドも見せました。神権の意味、霊の生活と日常の生活に対する神権の適用、神権に関する霊的な個人的証詞、神権を受けるには如何にすべきか「新しい会員と親しくなること」、「会員同志の兄弟愛」について、などがこの「ゼミナー」の間に話された主題であります。この「ゼミナー」は十二回つづきましたが、この会に出る人には毎週ハガキと手紙とを出して、会のあることを思い出させたり感謝をしたり各自の努力をはげましたりしました。この「ゼミナー」全体を通して、中央支部の支

部長丸山周兵兄弟と神権会の教師であり新しい執事定員会の「アドヴァイザー」である安斉兄弟からすばらしい協力を受けました。全体のプログラムは、神権が実際に活動している

さまを見せて、これから神権を受ける人たちに、モルモンの兄弟たちとして、神権の意味を知り、感じ、また実行し始める助けとなるためのものであります。

この「神権ゼミナー」は兄弟たちをいつも活潑に保つために大いに役立ち、また兄弟たちの多くの中に指導者としての能力をひじょうに発達させました。

千九百六十二年十一月二十五日に催おされた最後の「ゼミナー」において、今井一男兄弟が神権についてすばらしい話をし、高柳姉妹が美しいピヤノソロで「主の祈り」を演奏し、数人の兄弟が呼ばれて各自の証詞を述べ、閉会の歌が唱われて二十人以上の若い兄弟たち、その大部分が今や新しい神権者である若い兄弟たちが支部長会、宣教師そのほかの神権者たちと共にひざまずいて祈りをささげたときに、会衆一同は一人のこらず神権と教会員同志のすばらしい精神を感じたのであります。

まことに、中央支部に於ける「神権ゼミナー」の成功は、「神権ゼミナー」で神権者を強くしたことによって、神の王国すなわち教会を強化するためには何をする事ができるかを私たちに教えています。

この「神権ゼミナー」はバーロー・パッカ―長老と丸山周兵支部長とが組織して指導したものであります。

写真説明。この兄弟たちは新しく「執事定員会」をつくる十八人の新しい執事の中の十四人です。

伝道部長 指示

各支部の書記へ

新しいバプテスマのあるごとに、その一つ一つを必ず正しく記録するようにして下さい。またバプテスマがあったら必ずすぐにその記録を伝道部の事務所へ送附して下さい。支部からの通知がおけると、伝道部の事務所から大管長会へ出す毎月の報告は不正確になります。必ずすみやかに出して下さい。

* * *
マッケイ大管長の賞状は「紹介プログラム」の一環として出すはずであります。伝道部の事務所を経由して請求して下さい。

* * *
地方部の管理長老は、非専任教師になる候補者も含めて、バプテスマを受ける候補者と全部面接をするはずであります。

伝道部長



支部だより

沖繩地方部

北部極東伝道部の兄弟姉妹今日は、久しぶりにここ沖繩地方部の近況をお知らせします。沖繩地方部は伝道本部から遠い南端にあって、日本本土の兄弟、姉妹と接する機会が殆んどありません。そんな折りに聖徒の道で紹介される各支部の「支部だより」の欄は大変に興味あるもの一つです。

今年（一九六三年）に入ってから沖繩地方部も一段と進歩しました。まず八月の大会で那覇と普天間の両支部の支部長会がすべて沖繩地方部の兄弟たちによって組織されました。これも大きな進歩の一つです。そしてこの機会を通してまた一段と証詞が強くなったことはいうまでもありません。

那覇支部支部長 長嶺顕正兄弟
 普天間支部支部長 横田光順兄弟
 それから去る十一月の大会では又、大島長老から長嶺顕正兄弟に地方支部長の責任が引き

継がれました。その大会で、アンダーセン伝道部長から発表があり賛成の挙手を求められたとき、そこ集った多くの兄弟、姉妹の口からおもわず歎声が発せられたのをよく覚えております。長嶺兄弟は一九五八年にバプテスマを受けてから現在まで約五ヶ年のモルモン生活をした。その間三ヶ年度、神権会に於て教師の責任を受け持ちずっと活発に働いた。そして六一年の二月に大神権を受けその年の五月には支部の第二副支部長を勤めた。それから去る六二年の八月の大会では那覇支部支部長の責任を受けた。そして現在は地方部長と云う大きな責任を持っている。兄弟は現在銀行へ勤める平凡なサラリーマン、けれども彼の内には神の御国を築くための限りない闘志と強い証詞とがあることを容易にうかがえる。今後の沖繩地方部も彼と共にますます進歩することを確信している。

沖繩地方部長 長嶺顕正兄弟
 那覇支部部長 大城朝次郎兄弟
 普天間支部部長 横田光順兄弟

一月末日旭川市主催で「雪まつり」が開催されました。会場に多くのすぐれた作品がみられました。その中にモルモンの神殿というテーマの作品が出品されています。これは支部の宣教師たちと会員たちの協力で作られたもので、私たちは旭川の地に「ソルトレーク神殿」をみた（？）のです。会場には、いくつも超大型の作品があり、その中に、それとは対照的に細部にいたるまで精巧に創られた荘嚴なイメージを与える。この神殿は大勢の人々に注目を浴びていました。

「早く日本にも神殿ができるといいね」
 「そうだね、永遠の結婚もできるし、祖先たちのためにいろいろな儀式を行うこともできるわけだね」
 このような会話は、日本中のどの支部でも聞かれるものでしょう。
 本当に近い将来神殿が建築されるとよいです。

神殿会と扶助協会がそれぞれ、ブランチパーティー、家庭訪問を再び活発に実行しています。この成果はもうすぐ実を結ぶことでしょう。
 また旭川支部では次の委員が組織されています。「聖徒の道委員会」「歓迎委員会」「美化委員会」「建築資金委員会」「図書委員会」の五つの委員会があります。それぞれの委員会には、神権者が中心となっていて委

員長のもとに管理、運営計画などの責任が与えられています。たとえば歓迎委員会は、単に集会場のみで活動するだけでなく、遠くに住む兄弟姉妹たちに支部の様子を知らせるために、更に親愛を深めるために定期的に手紙と書くなど。

毎週開かれるYH Aでは山根兄弟、川原兄弟を中心に行なわれています。現在バレーボールを練習していますが、これに関するかぎり他支部に敗けないつもりです。

松本支部

一九六三年も「聖徒の道」の支部だよりを通じて各地の皆様とお目にかかりたいと思います。

新しくバプテスマ・フォントを支部内に備えつけてまして、正月も六名の会員を誕生させました。

- 赤羽数江姉妹 上条きぬ姉妹
- 城取定幸兄弟 大間康子姉妹
- 中田純子姉妹 古幡榮子姉妹
- 神権授与者
- 執事 神山英夫兄弟
- 教師 青柳一兄弟

宣教師移動

- スマイス長老 アメリカへ帰国
 - バンデイ長老 福岡支部へ
 - ヒーテン長老 小樽支部より
 - クレッポ長老 アメリカより着任
- 北陸地方豪雪にもかかわらず、松本はあま

り雪がみられません。しかし毎日寒波が押し寄せて、水面には氷が張りつめます。去る土曜日学校の寒中休暇を利用して、美鈴湖へスケートにいきました。集った兄弟姉妹十数名、スケートを履いて氷上に出れば、スイスイと滑る者二、三名、他の者は細い歯に何十キロもの体重を載せるのに一苦労、バランスを崩して水面に大きな「尻餅ち」をついては、厚い氷もいささかかわいそうでしょう。日曜学校とMIAの役員指導者の変更
大人日曜学校新役員

- 会長 児玉栄治兄弟
- 第一副会長 高坂長生兄弟
- 第二副会長 土屋 正兄弟
- 書記 百瀬城子姉妹
- Eクラス教師伊藤順子姉妹
- 子供日曜学校新役員
- 責任者 青木サガ姉妹
- 書記 伊藤恵美子姉妹
- MIA新役員
- YM会長 飯田和視兄弟
- 書記 翁てるみ姉妹

西宮支部

○一月十九日 孤児院訪問

その日はMIAエンサインローレルの主催で西宮市鳴尾町にある三光塾を訪ねました。お土産は小学生にはお菓子、中学生はノートを持って行きました。訪問者は姉妹をまじえて十二名でしたが、特に若い兄弟が多か

だったので、彼らの子供向の顔が受けたものか、大変歓迎され、ゲームに、コーラスにと短い時間でしたが、本当に楽しく有意義に過ごすことができました。そして皆すっかり仲良しになってしまいましたので、互になごりを惜みながら帰路につきました。

こうして当支部も希望的な新春の第一足を、踏出しましたが、今年は年頭から冷たい季節風が吹き荒れて町中が凍りつくような寒さが続いております。二十三日には珍しく四センチ程の積雪を見ました。こうした中で二十日朝今年始めてのバプテスマが、仁川の氷を割って、施されました。丈なす黒髪と美しい容姿をして、明かるい性格の持世鴨田和子姉妹です。

よほどの強い信仰がなければできないことです。長老たち始め立合った人々は深く感動いたしました。新しい会員の誕生を心から喜び迎へると共に若い姉妹の今後の活躍が期待されます。この寒さは当分薄らぐ様子もありませんが、一同元氣一ぱいそれぞれの務めに励んでおります。

札幌支部

十二月から、支部有志の新聞が発行されています。「モルモンの泉」の名をとって、「いずみ」と命名され、高校生の三人の姉妹達が担当しています。支部の仕事がほぼ、くわしく書かれ、愉快な言葉も沢山出て来ます。先日購入した複写機を使いますので、彼女達の手

間も、かなりはぶけるものと思われます。

「いずみ」は、三、四年前にも発行されていましたが、今回を持って、いっそう内容が充実されるよう期待している次第です。

さて、一月二日は、支部長会、各補助組織の共催で、新年会がひらかれ、姉妹達の美しい和服姿が見られました。各々持ちよったおもいで、扶助協会の姉妹達がお雑煮とおしるこを作って下さいました。食事の仕度をしてくれる姉妹達が、一層やさしく、美しく見えるのに、どうしたわけでしょうか。

カルタをとったり、碁をうったり、夕方、六時頃まで、奇妙な歓声がきこえていました。遠い支部の皆さん、今年もどうぞよろしく。

柴田正毅兄弟留学

柴田兄弟は、昭和三十七年高校を卒業し、受験の準備をしていたのですが、B・Y・Uを目標しているとは、思いもよらぬことでした。昨年八月、野球の最中に左足を折ったため、渡米が、やむなく延びていました。ほとんど、よくなった足で、十六日、元気に札幌をたちました。入院中の治療はかなり苦痛だったようですが、医師の指示に従がって、よく頑張りました。約五年間、B・Y・Uの工学部に学ぶことになっていきます。柴田兄弟は、まだまだ子ども供っぽく、教会にあつては、やさしく、愉快な人でした。約五年間の留学生生活をきくと、彼の人生に大きな役割をはたすことと思えます。

小樽支部

小さな支部であった小樽支部も今は相撲というなら小結くらい。神権者の数もずいぶん増えて来ました。神権会の出席人数など、少ない時で十七名ぐらい、多くなると二十七名ぐらいにもなります。

昨年の七月に北海道地方部にはじめて設けられた同僚制度があります。私たち小樽支部は四ツのグループを設けました。その主となる人は皆アロン神権者でした。支部長会の人々は色々心配してどうにか出発する段階までいきました。グループを設立するとき他支部の人に「あなたの支部が一番いいですね」といわれ、答えて「いいえ一番おそろしいです」といったそうです。

私たちは、その意味がよく判っていません。支部長会の人々は、いつも連絡を密接にとるよう。主体となるのはブランチ・テイ・チングである。緊張した空気が部屋いっぱいにみぎります。神権者の顔もきりつとひきしまつてうなずき合います。

グループに別れての活動は、ブランチ・テイ・チングするもの、チラシをくばるもの、トイレのそうじをするもの、とにかくやったといえるでしょう。

ブランチ・テイ・チングに行き、門前バライをくってかなしんだこと、主の大きな祝福と愛に満たされてよろこび合ったことなど、今となってはなつかしい思い出ともいえるでしょう。そのかなしさが今ではよろこびとな

り、大きな証詞となってかえて来ます。心配して色々教えてくれた支部長会の人々に、私たちは心から感謝するものです。今年より同僚もふえグループが五つになりました。

名古屋支部よりポツカリ顔を出した若松兄弟、彼はMIAの会長をしていましたが、今年の二月の大会で長老の神権者となり、三人であった小樽の支部も長老は四人となり力強いかぎりです。MIAの会長に串岡信一兄弟がなりました。

伝道本部だより

バプテスマ 一九六二年十二月

坂本	大石	森忠	三浦和	黒田耕	久家雅	岩田茂	伊藤智	生野晴	古川勝	天本三	秋根苑	福岡忠	米沢忠	青山輝	旭川嘉	渡辺孝	谷口幸	沖野公	木村三	叶村進	叶村進	阿倍野サ	
弘子	とも	憲子	和子	耕子	雅子	茂子	智子	晴美	勝馬	三津子	苑生	岡義	沢マ	山ミ	川子	辺子	口子	野三	村三	進ヨ	重富	重富	
釜石	明石	金沢	大和	新屋	佐伯	三場	広島	外崎	富沢	鈴木	須藤	小野	宮下	猪原	群馬	安川	渡辺	植村	篠原	篠原	島田	重富	
睦美	美代子	八州男	英治	英彦	伊藤	美智子	山本	津路	香西	紺田	服部	京木	青都	竹窪	井上	井上	井上	甲府	甲府	甲府	甲府	甲府	甲府
中村	和子	蘭屋	佳枝	須藤	順子	藤本	本明	英雄	八上	八上													
西ノ宮	山崎	梅沢	田益	高美	須美	清水	大桑	堀野	新湯	八上	八上												
佐藤	久保	三浦	喜美子	岡森	深田	賀北	山田	沢本	川村	増田	東原	東原											
立尾	皓子	千鶴	幾久	サヨ	啓子	洋子	治子	寛子	石川	相川	東原	東原											
良子	恵子	芳子	伸夫	純子	尊子	三子	孝子	ア子	照美	利江	利江												

新しい会員を親しい

会員仲間にする事

正しい方法で親しい会員仲間にする事は、成績のよい宣教師活動をするために必要な一つの鍵であります。私たちの教会はいま宣教師の努力を集中して行っているので、私たちの使える道具は何でも利用するので、私たちが使えます。もっと私たちは「親しい会員仲間にする」活動を、バプテスマを受けて教会へ入ってきた新しい会員を一本立ちの会員にするやり方であると思っていました。しかし、この活動は、教会員がはじめて教会員でない人に会って集りへつれて行く時からすでに始まっているのであります。教会員でない人が影響を感じる印象を受けるのはこの時であります。そういうわけですから、私たちの行いは模範的であって、誰からも非難を受けないりっぱな行いでなくてはなりません。教会員でない人と、事務上で交際をしたり、社交としての交際をしたりするときにはりっぱな礼儀を守って、親しい関係をつくるもとにしなくてはなりません。もしもこのやり方に従っているときは「モルモン教について何かござんじですか」「もっと知りたいとお思ひになりませんか」と言う機会が出てくるのも困難ではないでしょう。各教会員の方

でよい模範を示すなら、この「親しい会員仲間にする」活動に対してすばらしい効果が発揮されるにちがひありません。

各支部で「新しい会員を親しい会員仲間にする」活動の委員が任命されても、委員ひとりでの仕事が出来るわけではありません。彼らはさきにとつてこの活動をするでしょうが、結局成功するかしないかは支部の会員の示す態度によるものであります。私たちのうち大部分の者は、教会員になったから当然のことだと思ふ傾きがありすぎて、新しく会員になった人の必要とすることを理解しませんが、多くの場合、教会員になると終生の友さへもすてなくてはならぬことがあります。教会員になると、新しい礼儀作法の基準をもつ新しい環境に入ることとなります。これはすなわち新しい生き方です。さらにこれと相ならなくて、ある人々には長い間の習慣にかなくてもあななが、これとおなじ経験を受けているとしたら、どんな感じがするかよく考えてごらん下さい。あなたがたも、その人たちとおなじように友だちをほんとうにほしと思うでしょう。あなたがたも、教会にほんとうに受け入れたという保証がほしいと思うでしょう。もしも新しい会員が正しく「親しい会員仲間」にされなかつたとしたら、中には失望落胆してついに教会から離れ去る人もあるでしょう。私たちはこの人たちに友情と

助けを与えるために、私たちのやり方から出なければなりません。どのような場合にも、この人たちに、自分たちは試れんを受けているという感じをもたせてはなりません。この人たちの間に障壁をつくってこの人々たちをつめた氷の上に置いてはなりません。成績のよい「親しい会員仲間にする活動」とは、新しい会員を自分たちの列の中へ完全に吸収してしまふことです。それまでその新しい会員たちが、ひまな時に行っていたことのかわりに、価値のある活動でその生活を満して下さい。私たちの行っているレクリエーションのプログラムで自分の転換をするよう助けて下さい。もしも私たちが、新しい会員たちに教会の行う完全なプログラムを知らせるならば、新しい会員たちの喜びは完全になるにちがひありません。新しい会員をあなたの家庭へ招いて下さい。そして何もかもがくし立てをしないうで交わって下さい。また新しい会員の家へも行って下さい。そしてその人たちといっしょに活動をして下さい。そして「良い隣人」になりなさい。とりわけ第二の大きな誠命を実行して、新しい会員を愛し、それによってこの一人一人を「親しい会員仲間」にして下さい。

メルケゼク神権

第一長老定員会



る神と新たな誓約の仲保者イエスとの臨在と視しき交通とを享けることなり。(教義と聖約第一百七章十八—十九)

長老とその義務

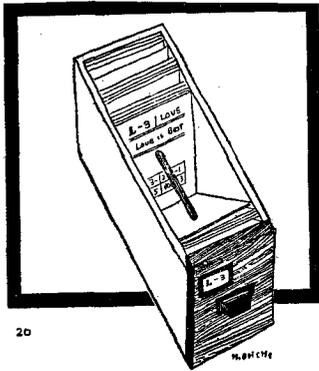
バプテスマを受けて教会に入りたる者に聖典の示すところに則り火と聖霊とのバプテスマをくる按手を施して教会員たることを確認しまた教え積み勧めバプテスマを行ひ教会を守護しまた按手を施して教会員たることを確して聖霊を与えまたすべての集会を指導するよとを以てその天職とす。長老は神の誠命と啓示に則り聖霊の導くままに集会を指導すべき者とす。(教義と聖約第廿章四一、四四—四五)

メルケゼデク神権の権能

メルケゼデク神権は管理する権能を有し、この世のあらゆる時代に於て、教会内に於けるそのすべての職を管理する権能と權威とを有して靈に関する諸々の事を執り行うことを得るなり。メルケゼデクの神権の大神権の大管長会は当教会に於ける一切の職務を行う権能を有す。メルケゼデク神権の大神権の大祭司は大管長会の命を受け自己の地位に在りて靈に関することを行う権能を有す。而してまた長老および(レビ神権に属する)祭司教師執

事その他会員の職務を行う。長老は大祭司不在の時その代理として職務を執り行う。権能を有す。大祭司と長老とは教会の誓約と誠命とに適える靈に関する諸事を執り行うべき者にしてまた上級の權威ある者不在なる時は教会に於けるその職務をことごとく行う権能を有す。(教義と聖約第一百七章八—十二)

メルケゼデク神権の権能と權威とは教会員のすべての靈に届ける祝福の鍵を保つことなり。すなわち天の王国の奧義を受くる特権を有し諸々の天は彼らに開かれ神の「長子」の教会とその総集いと、の視しき交通を享け父な



系の道のしるべ

シート記入の概略

スペシャル・ナイト

4月7日(日) 良き訪れの日

このプログラムは 1836 年 4月 3日のエライジャの訪れを記念して行われます。まさに大なる喜びと歓喜の日です。

閉開の歌、途中の歌は死者の喜びに溢れ、先祖を思わしめる讚美歌を撰びましょう。話は「エライジャの訪れ、を「シオン山の救い主、「子の心に、適当な題目を考え撰びすばらしき訪れの記念のプログラムになりますように致しましょう。

〔姓 名〕

- 1) 名が先で姓が後。例、Isamu Yamada。
- 2) イニシアルは用ひない。姓の下にアンダーラインを引く。
- 3) 姓が変わった時、元の姓の後に OR をつけて加える。
例、Isamu Yamada or oda。
- 4) 生涯に二つ以上の名前を使用した人は、OR を以って続ける。
例、Isamu Yamada or Ichiro Yamada。
- 5) 同姓の人同志が縁組した時は、姓の下にダブルアンダーラインを引く。
例、Kazuko Yamada。
- 6) 妻の場合、必ず姓で書く。

〔日 附〕

- 1) 記入順序、日、月、年 例、5, Feb. 1950。
- 2) 年は西暦を用ひる。月名は英語略語を用ふ。
- 3) いん歴の資料を用ひる時は、日月共にそのまま用ひ、年は西暦を用ふ。

〔場 所〕

- 1) (町、村、市(県)の順で書く。 例、Yokohama-shi, Kanagawa.
- 2) 六大都市の場合、 例、Minato-ku, Tokyo.
- 3) 祖父、又は曾祖父の時代から変更した場合、旧名を記入して()中に現在名を記入する。
例、Akasaka-ku (Now, Minato-ku) Tokyo.

〔家族代表〕

- 1) 通常血族のメンバーである。
- 2) 女子が家族代表になってしかも既婚の場合、このらんのみ結婚後の姓名を用ひる。
- 3) 家族代表たるメンバーが死亡し、他の家族が作製する時、その氏名の後にデシーズドを示す“D”の字を附す。このさい実際の作製者の氏名及び住所を“BY”と云う字を附して記す。
- 4) 夫妻と家族関係をはっきり記す° 両親 (son) 祖父 (glandson) 曾祖父 (g, g, son) 二代名曾父母 (2g. g. son) 女子の場合 (dau, granddan. g. g. dau, ……etc. 義従兄弟 (cousin in-law) 兄弟姉妹の子 (1st cousin,) 孫 (2nd cousin) ……etc.
- 5) 家族代表の直接の先祖にあたる人の名前の左側に×印をつける。
- 6) 直系以外の親族が家族代表となった時 (rel-in-law) (relative in law) を義理の方に (rel) は親戚の方につける。

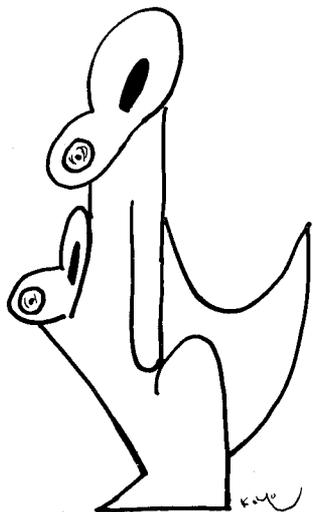
例 外 二 つ 三 つ

- (住 所) 1) 出生地不明の時 OF とし居住地を記入
2) 居住地が幾つか知れている時最も早い居住地を用ふ。
3) 誕生日が知れ出生地が不明で居住地が確認出来ない時は、家族の記録の夫と妻は結婚した場合を居住地とみなす。
4) それも不明の場合は死亡地を居住地とする。
- (日 附) 1) 最初の子の出生年月日がわかっていて両親の生年月日不明。父一子の26年前、母一子の22年前。
2) 両親の結婚年月日がわかっていて生年月日不明。父一約25年前、母一約21年前。
3) 子供の順位がわかっていて只一人以外の生年月日不明。他の子供たちは2ヶ年の間かくを置いてがい算する。
4) 生年月日のわかっていて子供が最初の子供であるかどうか不明、父は32才、母は28才とする。

「日本系図探求要覧」より

子供の日曜 学校ガイド

4 月 用



『復活祭プログラム』

主のよみがえりをお祝いする日、今年は四月十四日です。各支部とも素晴らしいプログラムを組んでいらっしゃると思いますが、次の様なプログラムを一提案として載せました

前奏曲 この日にふさわしい曲

開会の歌 四十番「主のよみがえり」

祈り 先生（やさしい言葉で）

挨拶 会長会会員（第二副会長）

聖句朗読 ヨハネによる福音書

お 話 十一〇二五、二六（上級の生徒による）

（イエス様 生徒自身にさせる。
（やはり上級の生徒になって

の復活につ

しまうようです。紙芝居等を使って、ヨハネによる福音書

二十〇一〜十八までを話す。

全員で讃美歌合唱 十番（我が救主よ）

お 話

先生による

ルカによる福音書二十四〇三〜三十一までを物語的に、加えて私たちも復活すること

分 級

各クラスとも、イエス様の復活の勉強をする。

参考資料 1. 聖徒の道、61年62年度、三月号

月号

2. マタイ、マルコ、ルカ、ヨ

ハネによる福音書

3. 復活に関する絵、紙芝居

4. レコード、讃美歌

5. 詩、物語

閉会の歌 五番（われとともにおりたま

え）

祈り 生徒

『63年度テキストについて』

新テキストが、お手本にくりひろげられている頃と思います。まだの支部は今日にでもすぐに支部長さんにお願ひしましょう。

上級（五・六年生）モルモン経物語二〇〇円

やさしく物語的に書かれてあり、大いに興味を注ぐ本。

中級（四・三・二年生） 宗教と生活（その

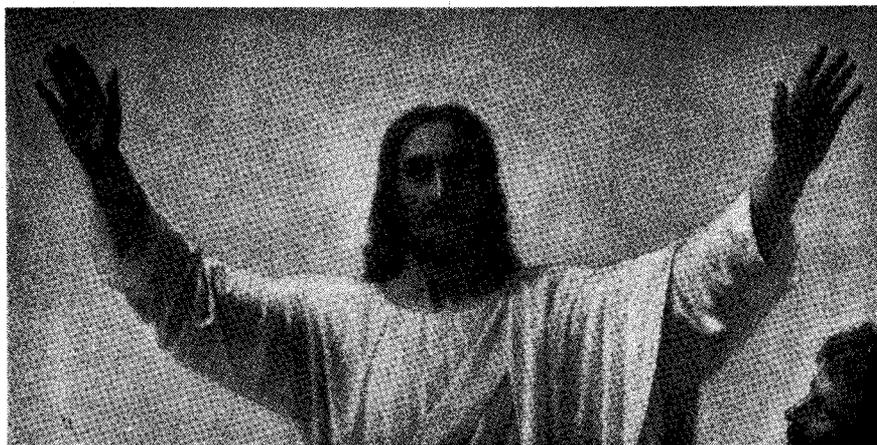
一） 円

子供達の身近かに起りがちな出来事とおして良き末日聖徒イエス・キリスト教会の会員となるよう、大切なレッスン。

下級（一年生、四歳以上） 聖書物語（旧約

一五〇円

テキストは大人のAコースと同じですが決してむずかしくありません。昔々と始まるお話に子供達は耳を傾けることでしょう。



よみがえり

この世での使命を果された

イエスさまは

天のお父様に召されました

マリアが訪れた石の墓

もはや 主はそこになく

麻布だけがありました

「そうです

イエス様は死人のうちから

よみがえったのです」

やがてイエスさまは

愛する弟子の前に現れて

親しく共に食事され

釘あとをさわらせて

真実 よみがえりを

教えられました

レッスンガイドについて

殆どどの支部より教科書を生徒に教える際の模範的なレッスンのやり方を示してくれという要求が伝道本部にきておりましたが、今度四人の会長会で次のように分担してレッスンガイドを作るようになりました。

旧約聖書物語

小林義生兄弟

福音の実践

鈴木百合子姉妹

福音の紹介

山田五郎兄弟

奇しきみわざ

上野道男兄弟

これをごらんになっている頃は各支部に品物は着いておることと思いますが、もしまだでしたら大至急請求して下さい。我々四人で原稿を作り、ガリを切り、印刷するので非常に負担になりますが、皆様のお役に立てば、やり甲斐のあるというものです。どうか御質問やら御不満の点がありましたら、次の住所にお手紙を下さい。

東京都中野区江古田町二の九九五 上野道男

できるだけ丁寧、親切にお答えするつもりです。鈴木姉妹、山田、小林兄弟のガイドについての御質問も私からお渡し致します。始めてのことなのでいかなる反応があるか、おっかなびっくりでお待ち致しております。御

感想でも結構です。尚これは二部ずつお送りしましたが、一部は担当の教師、一部は会長会で保管し利用して下さい。勿論これは例ですので、これをそのまま使わないで各支部に応じて適当にレッスンを組立ててよろしいです。

レッスンガイドについてでなくても日曜学校について何か問題がありましたら、お知らせ下さい。但し日曜学校の出席レポートは伝道本部小林兄弟あてに出して下さい。

復活祭プログラム

早いもので日一日と暖かくなり復活祭が間近かにせまってきました。復活祭は春分の日（三月二十一日）以後で満月の晩の次の日曜日となっております。今年四月九日の晩が満月ですのでその次の日曜日即ち四月十四日が復活祭です。今年もソルトレークのデゼルト日曜学校よりの提案プログラムを翻訳してのせます。

テーマ・わたしはよみがえりであり、命である（ヨハネによる福音書十一・二五）

敬虔なる前奏

開会の歌 二二

開会の祈り

歓迎の挨拶
聖句朗読

支部長
ヨハネによる福音書二十：
一一三一、バックにオルガ

ンの音を入れるとよい。

斉唱あるいは聖歌隊の合唱 九三

復活祭を我々がなぜ祝うか？（十分）

1 十字架の贖いによるキリストの祝福。

イエスは人類に対する深い愛をお持ち

であったため、自分から進んで命を献げ

られた。そのため我々人類は再び復活す

ることができ、また悔改めることによっ

て自分の罪を許して頂ける（モーサヤ書

四・六―三十、信仰箇条の研究四章を参

照して下さい）

2 福音を生活の中にとり入れることによ

って受けるキリストの祝福。

次の福音の原則に従って生活するなら

我々は完全な救いに至る道を歩むことを

キリストは私たちに教えられた。キリス

トは全生涯を通じて、これらの原則を模

範的に実行なさった。福音の原則とは

「信仰、悔改め、バプテスマ、謙遜、寛

容、奉仕、信頼、愛」のことを意味する。

我々が聖さんをとるとき、神とかわした

この原則の実行の誓約を思い出し、生活

練習の讚美歌

練習の讚美歌 二二九番

二二九番の楽譜を開いた時、心の中でこうつぶやいた方がいらっしやるかもしれません。「今月の歌はリズムがややこしそうだな……」そして楽譜を読んでゆく中に、「 \sharp 拍子から \flat 拍子に変わってる。そこで又「指揮しにくいのではないかしら？」って。

でも大丈夫です。貴方は今迄ももっとも難しいリズムの歌を指導していらっしやったのですから。この様にいろんな長さの音符が並べてある歌は一見むずかしそうに思えます。ことに附点音符が多い時は。でもリズムを頭に入れてしまえば思ったほど大変ではありません。ただ初見では歌いにくいですから教える前によく練習しておいて下さい。

前にも言いました様に \sharp 拍子で始まって折返しのところから \flat 拍子になってますから注意しましょう。各段の第一小節のところは気をつけて下さい。つまり一段目は一拍で入り二三段は半拍そして折返しのところは一拍になっていきますね。この様な時はそのすぐ前の音の長さを正確にする事が大切です。特に折返しの前の二分音符を長すぎない様に。

最後の附点二分音符は十分三拍のばす様に。

アルトは一段三十節の音の開きと、二段のナチュラルとフラットのところに注意して下さい。四拍子に入ってからソプラノ以外のパートは一拍半ずつおかれて歌いますからコーラスをする場合はそこをよく練習して下さい。

五月 四十九番

子供日曜学校 二六番

しあわせと題がついている様に、本当に楽しい、よろこびに溢れた歌です。

一段のシャープと四段のフラットを正しく出して下さい。元氣よく歌って下さい。

五月 四十五番

指揮者のために

今月の歌は二拍子と四拍子ですから図によって説明しませんが、下す拍でなく最後の拍で入りますから歌い始めのサインをよく注意して下さい。その準備拍の動作が大きすぎると合衆が歌い出してしまおうとゆう珍事を起こすおそれがあります。

自分の指揮と歌がちぐはぐにならないために鏡の前に立って歌い乍ら充分練習なさる様おすすめ致します。

の中にとり入れているかどうかを考えるのである。

分級 できるだけ復活についてのレッスンを準備する。

復級

閉会の歌 一〇八

閉会の祈り

日曜学校ガイド

4 月 用

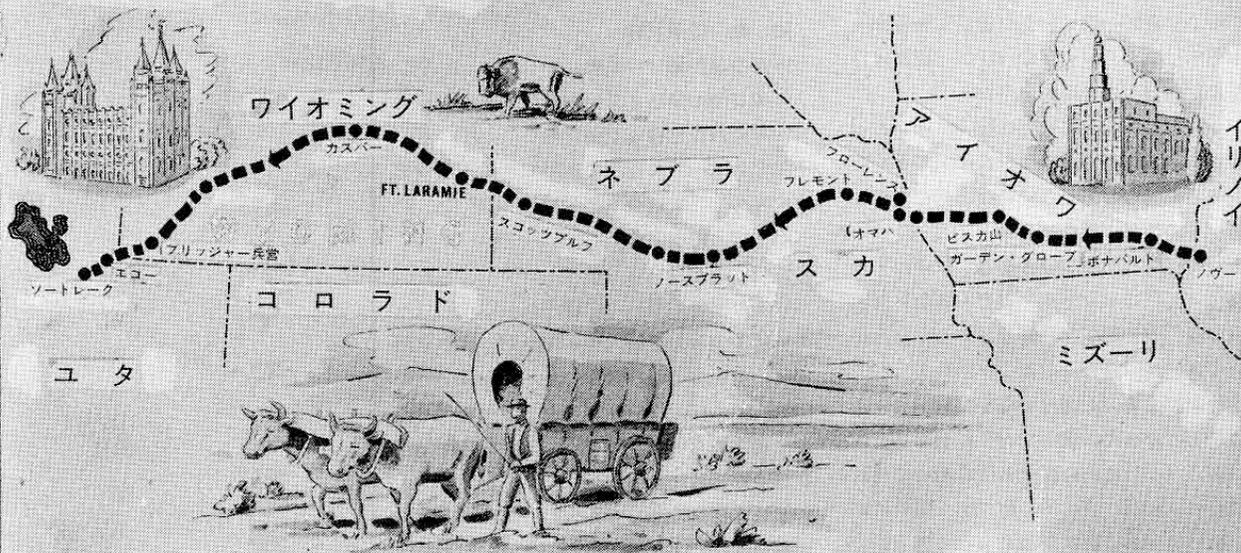
0 50 100
km

モーゼの指導の下に

出ノウ

ブリガム・ヤングの指導の下に

200 400 200
km





MIA 全国大会予告

M I A 全国大会開催予告

親愛なる全国の兄弟、姉妹、お友だちの皆さん、こんにちは、永かった冬も終り、南の国の支部には暖い春の日射しが皆さんとふり注いでいることでしょう。北の地方の支部ではまだ本格的な春はやって来ておりませんが、その足音に胸をときめかせておることと思います。このように全国のMIAの会員の皆さんが明るい希望に心を燃やしている上に更にそれを高揚する素晴らしい発表ができますことを感謝しております。見出しにもあるように、いよいよ待望の全国大会が開催されるよとなりました。先日の伝道部長会との会合で、大体的方針が決まりましたのでお知らせします。この種の催しはアメリカ本国を中心にステーク部が組織されている国々、地方では毎年、一、二回ステーク部単位で開かれています。日本では未だ残念乍らステーク部が組織されていませんが、質、量の両面を考へて機は熟していると云う結論に達した訳です。此夏、八月上旬から八月中旬の間に三、四日の期間でジャンボリー形式を執る予定です。中心地は東京及びその近郊で「本当に出席して良かった」と云われるよう準備したいと思っておりますので、各支部の皆さんには万難を排しても出席できますよう予め用意していただくさい。日どり、その他の細部は後日発表しますが、疑問等のある方はMIA役員に尋ねて下さい。プログラムの大要は大体次の次第です。スポーツ（海水浴、バレーボール等）バス旅行、証詞会、支部交歓（いろいろの方法を計画中）等です。費用はその大半が交通費、宿泊料だと思えますが、今からその準備をして下さい。

伝道部MIA会長 佐藤 襄 二

MIA Leader



★ 特別発表 ★

伝道部 M I A 事務局

Y M ・ M I A 管理会長 佐藤 襄二
Y W ・ M I A 会長 佐藤 栄子

若人の催い

M I A 全国大会

各支部 M I A 会長並びに役員、教師の皆様、今、私達は素晴らしい計画のあることを、皆様の前に発表できますことを本当に喜んでおります。また、主がそれを賛成して下さい、伝道部長会の方々の御協力がありますことを心より感謝致しております。

多年の間、願っておりましたところの、この伝道部各地にいらっしゃいます兄弟、姉妹、お友達と、共に催したいと言う希望を、今年の夏実現致すことになりました。伝道部 M I A 指導者と伝道部長会とは昨年よりこれを企画致して居りましたが、種々の都合で実現を見なかつたのでありますが、昨年夏、転任なさいました新伝道部長アンダーセン部長も、ひきつづき、この計画に強い感心を寄せられまして、幾多の問題を考慮しつつ、今日の発表にまでこぎつけました。全国の若人達

が一堂に会する日をまぶたに、えがきますと、喜びと感激で、何かしら、目頭のあつくなる思いです。一人でも多くの人が参加出来ることを心に願ひ、色々な条件、さまざまな問題が、皆様の上に負担となりませぬようにと計画立てております。

日時は、決定して居りませんが、八月中であることと、三、四日の日程を持っていることが発表出来ませぬ。プログラムの内容も現在なお、検討中で、スポーツ、ピクニック、ダンス、タレント・ショー、ドラマ、討論会、証し会などが開かれる予定です。

場所は、やはり全国の真中に位置します東京で行われますが、プログラムに従ひまして近辺を移動範囲にしております。

また、経費のことですが、旅費と食費は自己負担となっておりますが、遠い地から、参加されます方と、極く近い支部より参加される方々の差について、現在考慮中です。何らかの方法が取られると思ひますが、何分にも日程が長いのと、遠方より出席される方々がいらっしゃるわけですので費用も、地方部大会出席よりかかることと思ひます。どうぞ、今から儉約し、あるいは、アルバイトなどして、用意されますようお願い致します。

す。

各支部のMIA役員の方々は、この大会が成功致しますよう御協力頂ければ幸いです。

早速に、発表して頂いて、今から出席希望者の方々が、準備出来ますようお願い致します。

細かいプログラムが決定致しましたら、各



満足と幸福感

Y・M・M・I・A

管理会長 ジョセフ・T・ベンスリー

教会と神の王国に奉仕するあらゆる末日聖徒は各自の奉仕を通して満足と幸福を見出し

ている事と深く確信致しております。MIAに於ける指導は大変難しく、可成りの献身と能力を必要とします。しかし、この奉仕の報酬としての満足と幸福感はそれだけ大きなものとなります。

各自が自分の教会に奉仕をし、教会の青年達や、天に在す私達の父に大きな犠牲を払う事から得られる進歩、満足、幸福等をもっと、もっと自分のものにするよう望んで居り

支部のMIAの方々にも御協力頂くと思いますが。その折りは、あらためて、御通知致します。

明日は貴方にお目にかかれると言う希望に胸をふくらませながら、今日の私達の責任を果して行きましょう。

主の御守りが皆様の上にありますように。

ます。

若い人達の指導者として、あなた方の現在の経験をこれらの喜びをより多く得るには次の事柄をしなくてはならない。

1 催される全ての指導者会、委員会、祈禱会を覚え、出席しなさい。主は私達に「ともにししばしば集いおれ」と教えられています
2 あなたに関係のある集会やプログラムを直ちに準備し始め、自分の分担を完遂しなさい。他の人達の貴重な時間はあなたにかかっているのである。時間を浪費しないよう

に。

3 あなたの仕事や共に奉仕する人達に対し、楽天的、かつ熱心であれ。協力者を軽く甘く観てはいけない。他の人を信頼し、自信を持たせるよう助けて上げなさい。

4 嫉妬や不平等によって交際の喜びや、あなたと交わっている人達への激励を壊さないようにしなさい。

5 謙虚であって、いつも折りをしなさい。主があなたになさせたい方法でああなたの仕事と責任をなすよう務めなさい。

以上はあなたの務めであり、主はあなたを祝福し、鼓舞し、勇気付けて呉れるでしょう。
(要二訳)

教師養成用レッスン

良く教え、指導する為の六つの基本的標準

(八月号からの続き)

(1) 恐怖には強盗の出現による様な客観的な原因によるもの。

(2) 人が話をする為に立ち上った時に、その人の心の中に生ずる主観的な恐怖。

勿論、後者に属する恐怖では射殺されそうになったり、身体に害を加えられると云った

恐怖ではなく、あくまで心の中にある恐怖である。生徒達からの色々な発言の後で、教師は次の様な質問をしてみるとよい。

a あなたは何故、クラスで話をするのを怖れますか。

b あなたは何故、他の人達があなたに就て考えようとする事を怖れますか。

c あなたが他の人達の意見を怖れる何か根本的な理由はありますか。

(右の各々の質問に関して、教師は順番に或いは順不同でも良いから何か発言させようと希望するかも知れない。此の際、何か変化を与える様な方法をとる事が望まれている。)

ブレインストーミングは注意深く準備されなければならぬが、教師も亦、その課題に精通し、ある程度の経験を積んでおく必要がある。そして、クラスの人達に丁度、バネ板のような自由な考え方の習慣を持たせ、然も興味を抱いて誰もが参加出来、創造力と合理性を行動に表わせるように仕向けなさい。

3 やかしまい開会

開会が騒々しい際のポイントはクラスを五、六人のグループに分ける事である。若し二十四人出席していたら、彼等を四クラスに分け、各小クラス毎に会を開くようにする。

教師は各グループ毎に一人の主任と報告者を選び、主任にそのグループで討論する為の問題を一つ与える。報告者はむしろ静かにして、グループで考えた事をまとめる様に待機している。予め決められた時間、例えば十五分後に、各グループは再び一つに集合し、順番に主任は記録をとっていた報告者を皆に紹介して語らせる。教師はどんな事がらが発言されたかを注意深く聴き、評価を加え、必要に応じて手際の良い批評をして、更に討論を進めていくか、最適と思われる時にまとめをしてやる。レッスンを注意深く計画し、質問事項を能く選び、クラスを運営するのに適切な、能動的な教授法を行なう為には充分な注意が必要とされる。開会が騒々しい時には前述したように、ある知識や経験を持ち出さなくてはならない。然し、若しあるクラスが秩序整然としているならば、それは良い方法でないかも知れない。他方、「信仰を通しての結婚」の如き古い課題には斬新な手段となる。例えば、次のような質問が四つのグループに手渡されたらしよう。

第一グループ

末日聖徒の少年、少女達は他の宗派の人とデートをしても良いか。

第二グループ

結婚して、夫婦関係にある場合、宗教上の結び付きは何故、大切なのであるか。

第三グループ

異教徒同志の夫婦から生まれた子供にはどんな問題が惹き起るか。

第四グループ

若し、モルモン(ユダヤ教徒かプロテスタント)がカトリック教徒と結婚したら、どんな特異な問題が生じるか。

4 帽子を回して

あるテーマを復習するのに最も優れた方法の一つは、教師が出席している人達、一人につき一つの項目を一枚の紙に書き、それ等を帽子の中に入れて形造っている円陣の周囲を一巡させる。クラスの各会員は帽子の中から一枚の紙片を任意に選ぶ。考えさせるために二分間の余裕を与えた後、自分の番が回ってきた時に、紙に書かれてあった事を実演してみせる。

四月十八日 一般活動 「音楽祭」

人類と音楽は古代から、切り離して考えるよとの出来ないものです。音楽はその時代々々の歩みを現わし、特に宗教と音楽は深い

ながりを持っていると知るよとが出来ます。「汝の歌う讚美歌は我れに対する証詞なり」と主が、おうせられたように、美しい音楽を聴く時に、本当に深い感銘にうたれるものです。

季節も花の訪れをつけ、私達の心の中に、春のよろこびと楽しさがいっぱいこの頃です。「音楽祭」を持つには、一番良い時だと思えます。

特別に指定された(或は、提案された)プログラムはありませんから、各支部で自由に企画して下さい。

此の夜の責任はM I A 会長と音楽クラス・リーダーにあります。早速、音楽クラスの人達を中心となって働き出しましょう。先ずクラスの中の人達の意向を確かめ、それを、クラス・リーダーがまとめて、会長と話し合います。プログラムが決定しましたら、実行委員を選び、宣伝や、プログラム作製をしましょう。特に、教会外の秀れた音楽家を招待している時は、確実に出席して下さい。どうか前日は再び打ち合せて下さい。

また、音楽クラス以外の人達の出演も協力して頂いてもかまいません。
趣考を交えて、音楽のバックに、ダンス・

クラスの人達の協力を得るのも、耳と共に、目を愉しませてくれて、其の日のお様に喜ばれることでしょう。

音楽は、クラシックでも、現代音楽でも良いとでしよう、ポピュラーなものも愉しいですね、日本音楽もいいでしよう。独奏や、合奏、ソロ、クオルテット、大きなコーラス私達のまわりには、何と沢山の音楽があるよとでしよう。どれでも選ぶよとが出来ますね。音楽グループの年に一度の発表会です。頑張ってくださいね。

私達のMIA



東京東支部

皆様こんにちは!
東京東支部より第一便をさしあげます。す

でにご承知のように東京東支部が昨年の夏誕生して、早くも七ヶ月になります。

現在四十八名の会員を持ち、内十八名の兄弟、三十名の姉妹。圧倒的に姉妹が多いというのが当支部の特徴でしょう。

一月には新しい支部長ギン長老を迎え、ギン長老、ステイブン長老、林長老の四人の宣教師の方々が毎日伝道にとめていらっしやいます。

日曜学校、M I A の集会は江戸川学園の三教室を借りて、行われ、毎週他支部より訪問者の方を迎え、素晴らしいお話を伺っています。まだ、支部としても小さく問題点もありますが私達一同、一に、フアイト、二に、フアイトと努力しております。どうぞ今後共、よろしくお願いいたします

Mメン・グリーナートの教師として、東京西支部の島田邦男兄弟(現在、東中央地方部M I A 補助・京浜地区M I A 指導者)が毎週忙がしい中を来てくださり、指導して下さいます。ここに誌上をかりまして感謝の意を表わしたいと思います。

Y W ・ M I A 会長 笹木 優子姉妹

副会長 沢沢かづ子姉妹
書記 吉田サヨ子姉妹

教師 吉田 和夫兄弟

米村 武俊兄弟

MIA指導者より

今週は東京東支部を訪問させて頂く予定にして居りました所、お便第一報有りがとうございまして。文面が短かくてMIAの様子が良くわかりません。でも皆さんが一生懸命やっけていらっしやる御様子や、女性軍の多いことなど、よくわかりました。会長会・役員の方名に、YW、しかないのは、そのせいでしようか？ 男性軍頑張つて、YM・MIA会長会を早く作して下さい。YM・MIA会長が管理会長となりますので、是非、是非組織を作して下さいね。

東京東支部MIAは、まだ七ヶ月の赤ちゃんですので可愛がって育てて下さい。離乳食が上手に出来て、一人でアンヨが出来るようになった時に、島田兄弟のお手伝を借りずにMメン・グリーンナーのクラスを開くことが出来るでしょう。島田兄弟は現在京浜地区の指導者として熱心に働いて下さっています。毎週訪問して下さいるうちに色々問題と解決するお手伝を受けて下さい。

東京東支部のMIAの皆様によくお伝え下さい。
(佐藤栄子記)



あなたと文通を

京都支部

川口高司 十八才 高校生

住所 京都市北区大将軍鷹司町二二

趣味 仕事、バスケット・ボール

写真、音楽(クラシック・ポピュラー)

西の宮支部

西田正男 十九才 事務員

住所 兵庫県宝塚市蔵人字西代八一

趣味 外国映画、ポピュラー音楽

希望 姉妹の方との文通

●各支部のMIA会員の方でペン・フレンド

希望の方は、住所、氏名、年令、趣味、所属支部名を書いて、MIA事務局へお送り

下さい。

住所 東京都練馬区春日町二丁目

二六一〇 佐藤襄二万

末日聖徒イエス・キリスト教会

北部極東伝道部MIA事務局

海外ペンフレンド紹介

李 済煥

大韓民国江原道旌善郡南面武陵里

国土建設第二十三建本部

Koo Jung Shik

THE CHURCH OF TESUS CHRIST
OF LATTER-DAY SAINTS

7 CHUNG WOON DONG RO-KU

SEOUL, KOREA

Seeela Van Ginkel

LEEGHWATERSTRAST 98

HILVERSUM

HOLLAND

(以上英文で文通望む)



ペギー・ヒュイシ・アンダーセン姉妹

あるとき、あるところに賢いおばあさまがありました。このおばあさまはまたお料理がとて上手でした。ある日のこと、このおばあさまはお友だちに自分のお料理の秘訣を教えていましたが、これをコップに何杯あれを茶匙にくつつ入れなさいと言って、おしみに「でもキャリーさんや、もしおいしいスープをつくらうとしたら『親切』もたっぷり入れなさいいけない、これを忘れちゃいけないよ」と言いました。

二人の会話をじっと聞いていた孫娘にはこの「親切」を入れることがとても不思議に思えました。この孫娘は台所戸の中をどんなに探しても、「親切」と書いてはり紙のしてあるカンを見たことがないのを知っていましたので、自分のおばあさまにそれは何ですかと聞きました。するとおばあさまは「あのね、お前がスープをつくらうと支那料理をつくらうとメキシコ料理をつくらうと、さては

子守歌をうたおうと本を書こうと何をしてもいいが、生きるということのほんとうの味を知りたいと思つたら、お前自身とお前のやさしいところと愛とを与えなくてはなりませんよ。親切というものを味つけなくてはいけないよ」と答えました（扶助協会中央管理会シー・H・ロビンソンの談話から）。

扶助協会は、その会員の内にしとやかで気高い生活をするのできる源をつくる手助けをしています。扶助協会のいろいろな活動を通して、主婦の働らきのあらゆる面を学ぶことができます。また婦人たちはその独創的な手細工することによって、各々の家庭をもっと美しくする方法を学び、よく整っている家をもっと儉約をすることを教わり、またそのところは聖典や偉人の伝説を学ぶことにより清められて強くなります。扶助協会はその会員の生活に教養と美しさと加えます。また会員は扶助協会からイエス・キリストの福音を受けて浄化され、それによって各々の証詞が強くなります。また扶助協会には上品優雅、思いやり、精神の向上などの美德がことごとく具体的にあらわれている上に、他人への考慮と奉仕がその中に含まれていますから、人間の洗練向上もまた扶助協会の一部であります。扶助協会はその長い歴史を通して、神の子たちに奉仕をすることにによって神に奉仕することを常に心がけてまいりました。それでありますから、私はこの時季に当たって、私たちの教会の婦人が組織しているこの扶助協会という完全な体系をつくるのに役立っているこれらのすばらしい部分をすべて思い起こしてみたいと思ふのであります。この偉大な扶助協会が始めて予言者ジョセフ・スミスによって組織されたのは千八百四十二年三月十七日のことでありますから、ことしは百二十一年の記念祭を迎える年になります。

「愛は不滅なり」ということばは、それが扶助協会の標語として選ばれた当時とすこしもかわらず、今もなお現実に生きています。全世界におよんでいるこの扶助協会という婦人会員同志の組織は、団体として扶助協会の名によって奉仕をする多くの機会を一人一人の会員に与え、また個々の姉妹の中に親切な行いをする習慣を成長させます。ほんとうに扶助協会から受ける祝福の大きなこと―たぶんみなさまは昨年十月の「聖徒の道」に発表した私のメッセージを思い起こして下さい。

上品で優雅な生活をすれば自然にすべてが洗練されます。それで、扶助協会のもっている浄化の力は過去百二十一年のうちに無数の人々に及んでいるのであります。

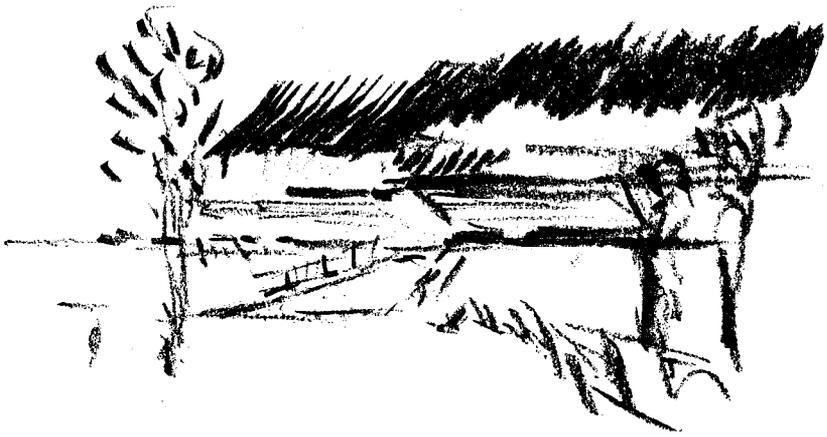
もしも北部極東伝道部の中にある各扶助協会が、間もなく来る扶助協会誕生の日を祝うため、とくに社交的の集りを催おすならたいへんうれしいことでしょう。その集りは比較的短いレッスンのあとでもつことも、仕事日の活動の一部としてもつことも、それ自身一つの活動としてもつこともできるでしょう。ノーヴールで扶助協会が組織されたことを思い出させ、このすばらしい扶助協会の会員になつている姉妹たちの目的といろいろな活動とを強調する短いプログラムを行なうこともみんなの人々にとつてたいへんためになるでしょう。

多くの友だちや家族の人も出席するために、それはとくに靈的のふんい気に満ちた集りになるではないでしょうか。出席者の幾人かが、または全員がその集りにふさわしい音楽を奏したり歌を唱たり、ほかの人々がためになる話をしたり寸劇を演じたりしたならば、今アンダーセン伝道部長が伝道部の会員方みなさまにしきりにねが

つておいでになる「紹介のプログラム」を活気づけるためにほん役に立つてあります。この集りを今年の社交活動のうちで一番すばらしい集りにするように計画を立てて下さい。

私たちの生活にしとやかで気高いところをつけ加えようではありませんか。私たちのまわりの人々に同情と愛と思いやりと心づかいとを示すようではありませんか。救い主が福音を回復させなされたとき、私たちに示して下さい。愛を何倍にもふやして返すようではありませんか。私たちは福音をほかの人々の生活の中にひろめることによって愛を何倍にもふやそうではありませんか。

ついこのあいだ、うちの娘が私たちに「あのねえ、イエスさまはなぜサタンをころしておしまにならないの？ サタンをすることは何でもみんな私たちにわるいことをさせるんですもの」とたずねました。私たちはこの間にこたえて、この地球の上に自由意志というものがあることが神さまのみこころであって、神さまは私たちが悪いことかわりに善いことを選ぶのを待っていらっしゃるのですよ、と云ってきかせました。今日日本にはこの大きな真理を知らない人が無数にありますが、もしこの人たちがサタンの影響力はたいへん強いこと、しかしイエス・キリストの使命が何であるかを学んで知り、また理解することによって暗黒の力にうちかつことができると、という福音の計画を聞きさえすればこの人たちの生活はもっともつと幸福になり豊かになるにちがいないでしょう。私は多くの婦人方が扶助協会を仲だちにしてこの美しい福音のことを聞くことができまますように、また一人のこらずあなたがたのところが、今月このまことの教会の扶助協会のプログラムに対する感謝の念で充たされますようにお祈りいたします。



母親ルシイ・マック・スミスの語る

ジョセフ・スミスの生涯(六)

第十一章 ジョセフ・スミス(初代)財産を失う。 ジェソン・マックの訪問。

前に述べましたように、私の夫がランドルフの町で商いをしていたのは僅かの間だけでありました。ここで商いをはじめて間もなく、夫はそのころ「薬用人参の砂糖づけ」が支那(今の中華民国)でひじょうに高く売れることをたしかめました。それは当時彼地でひじょうに流行していた疫病のくすりに使われていたものでした。

それで夫はこの「薬用人参の砂糖づけ」を取引きする商売にのり出すことにきめました。そういう次第で夫はこのような商売「薬用人参の砂糖づけ」をつくって輸出をする商売を実行するに必要な、自分の自由になる財産を全部投資いたしました。夫がある分量の人参を手に入れましたときロイヤルトンのステイヴンスという一人の商人が三千ドルでそれを買おうと申しました。しかし三千ドルでは本当の価の三分の二にしかなりませんので、夫はこれをことわってあなたに売るよりはむしろ自分で輸出をした方がよいとその人に申しました。

それからすぐに夫は、手持ちの「薬用人参」を船につみこもうと考えてニューヨーク市へまいりましたが、ちょうど出帆しようとしている一隻の船を見つけましたので、その船の船長と次のとりきめをいたしました。それは、船長は支那(今の中華民国)でその「薬用人参」を売ること、そして得た利益を夫に返すこと、というのでした。船長は誓約書を書いてそうすることを約束しました。

ところがスミス氏がその手持ちの「薬用人参」を輸出するとりきめをしているということがステイヴンス氏に聞こえたので、ステ

イーヴンス氏はすぐさまニューヨーク市へ行き、いくらか苦勞をして先にスミス氏が手持ちの「薬用人参」をつみこんだという船をつきとめ、自分もおなじく「薬用人参」を持っていたので、自分のもその船につみこむこと、また監督をするために自分の息子を乗船させることを取りきめました。

あとからわかってきたことですが、いろいろな状況から思うのに、その「薬用人参」は支那（今の中華民国）へもって行って高価に売り多くの利益があつたらしいのですが、私たちにとってはあまり得になりませんでした。それは、この冒険から得た利益として小さな茶の箱を受けとただけでしたからであります。

この船が帰ってきましたときステイーヴンス氏の息子さんもしよに帰ってきました。それで私の夫は彼が着いたという知らせを受けるとすぐさま彼のところへ行つて自分の「薬用人参」を売ることになり船長が成功したかどうかをたずねました。

ところがステイーヴンス氏はまったく口先きばかりの話をして、こまかいところは私も忘れてしまいました。つまり売れ行きはまったく失敗であつてスミス氏のために持つてくることのできたのは、スミス氏のものとして彼の手にわたされた小さな茶の箱だけであつたということです。

それから間もなく、このステイーヴンス氏の息子はメージャー・マックの持ち家を一軒借りて八人から十人の人を雇ひ、「薬用人参」を砂糖づけにする事業を始めました。

この事業にかかつてから間もなくその息子がかなり仕事に上達したとき、私の兄のメージャー・マックが会いに行つてみますと、ちようどそのとき彼は大へん酔っぱらっていました。私の兄はその前

へ進んで行つて「おや、ステイーヴンスさん。旨くやっていますね。間もなくいつでももう一度あそこへ旅行ができるようになるでしょうね」と言いました。それからまた、まったく無関心な様子で「ああ、ステイーヴンスさん。スミス兄弟の冒険は結局いくらになりましたかねえ」と言いました。

するとステイーヴンスの息子はアルコホルの勢いかられて警戒を解き、私の兄の手をとつて一つのトランクの側へつれて行きました。

そして、そのトランクのふたを開け「さああなた。ここにあるのがスミス氏の人参を売つて得た収入だ」と言いながら、たくさんの金貨銀貨を見せました。

兄のメージャー・マックはこれを見てひじょうに驚ろきました。が、さりげない風をしてしばらく彼と別な話題で話を交わし、それから家へ帰つてきましたが、その夜十時ごろ私の夫に会うためランドルフへ向けて出発しました。

さて、ステイーヴンスは酔いがさめてみると自分のしたことを思いかえし、私の兄のメージャー・マックについていろいろたずねてみて、兄がランドルフにいる私の夫のところへ行つたことをつきとめました。そして兄が行つたのは、あの「薬用人参」についての冒険に關して私の夫に会いに行つたのだと推測し、ただちに自分の事業場へかけつけると雇人を全部解雇し、自分の馬車を呼ぶと有金を全部持つてカナダへ逃げて行つてしまいました。その時から私はステイーヴンスの消息をまったく知りません。

私の夫は彼のをししばらく追いかけてみましたが、何の得るところもなく帰つてきました。そして事がこのようになったのをなが

めてひじょうにがっかりしました。それから、人と貸借関係がどうなっているかを知るために勘定を点検しはじめましたが、結局支那（今の中華民国）向けの冒険のために受けた損害に加えて、ほとんど二千ドルにおよぶひどい借金をしょっていることがわかりました。夫はその投機的の品物を支那（中華民国）へ送り出すとき、倉庫にある品物をかたにしてボストン市で千八百ドルの金を借りていましたが、支那（中華民国）向けの冒険の利益が入ったらこの借金をすますつもりでありました。ところが「葉用人参」に自分の財産をほとんど全部入れあげてしまったので、「葉用人参」が失敗した今となっては、自分の手にのこった財産で借金をすますことは不可能でありました。財産の形で夫の手にのこった重なたのみの綱はタンブリッジにある農場だけでありました。私たちは支那（中華民国）へ「葉用人参」を送り出すとすぐにそこへ帰ってきて住んでいたのであります。

この農場は当時千二百ドルほどの価値がありましたが、ボストンで借りた金の支払いにせまられていたので、私の夫は八百ドルで売りました。そして、私が兄とマジェット氏からおくられた千ドルの小切手をまだそのまま持っていたので、農場を売った八百ドルにこれをたしてようやく借金をすましたのであります。

私たちがまだタンブリッジの農場に住んでいたとき兄のジェソンがたずねてまいりました。ジェソンはそのとき自分の養子にしていたウィリヤム・スミスというよるべのない孤児をつれてきました。彼はこの農場へくるまでいつもこの児を養っていましたが、今この児に学業をさずけるためには私たちのところへ置いてもらうのが一番よいと思ったのであります。ジェソンは私の兄がまた来て彼をニ

ューブランズウィックへつれて行くまで半年間だけ私のところにとまっていたました。ジェソンは後にこのブランズウィックを自分の住所とし、貧しい人々が自力でやって行くのを助ける目的で買っていた土地に三十家族ほどの人を集めました。ジェソンはこの人々のためになるようにこの人々の仕事を計画しました。そして市場へ出して売りたいと思うものを生産したときには、それを市場へ持って行ってやりました。ジェソンは自分のほろ馬車を一台もっていただけだったので、そういう時には当時一番よい市場であったリパブルまで彼らの生産した品物をもって行ってやりました。

前に述べたようにジェソンがタンブリッジを訪ずれるために出発したとき、彼は自分の知っている人、とくに母や妹におくるためにたくさん品物を買ってまいったのですが、タンブリッジへ来る途中にめぐんでやらなければならない人々がたくさんあったので、その品物だけでなく自分のお金の大部分もめぐんでやってしまうました。あるときジェソンは、夫に死に別かれたばかりで悲惨な状態にいるある女の人に会いました。ジェソンはお金で十五ドルをこの人によった上に、この人とその六人の子供たちのために上下そろった服をそれぞれやったのであります。

ジェソンがタンブリッジに來たのが、私が彼に会った最後でありました。それから二十年すぎて次の手紙が私の兄のソロモンのところへまいりましたが、この手紙が一別以來ジェソンから受けとった知らせのほとんど全部であります。

「ニューブランズウィック州オルマクトの南支部にて

拜啓、これまで二十年間ごぶさたしましたが、今この手紙で私の生きていることを知ってさぞ驚ろいたでしょう。しかし、この二十

年の大部分というものはこれまでほとんど交通線による連絡のみがなく、その上転々として日夜集會に迫られていたことを申し上げれば、きつと許して下さると思います。これに加えるに、私の心はこの地球上のなげかわしい状態、地球をつつんでいる暗黒にすっかり占領されておりましたので、私が交通線の近くで働らくようになったときも手紙を出す機会があることに気づきませんでした。また私は長年のあいだあなたのところへお訪ねしようと思つていて、毎年ことしこそはきつと親戚と交わりを温め、私がこの世に別れを告げる前にお目にかかりたいと心にきめておりました。一つ大事なことを言ひのこしましたが、おどろいて下さいますな、私はきつと前から信仰の力を信じていましたが、めぐみ深くも主なる神さまは信仰の祈りによる癒しの賜物を私におさずけになり、人体に適していると思はれる簡単な方法を使うことをおゆるしになりました。こう言つても、私が最もたよりにしているのは最初に私たちをおつくりになり、解体した者でもこのままにもとにおかえしになる力のある御方でありませう。

私が祈りによつて人の病気をなおすという一風変わった経験をしたのは今から十二年前のことで、私はそのころからほとんど休むひまさえありませんでした。その時から間もなく、私はたえず祈りのために呼ばれるようになりましたが、これに加えて、私が見たこともないような反対が大河の流れのように私に押しよせてきました。しかし、弱い者をして賢い者の知恵をくつがえさすのは神の喜びたもうところでした。

私はこれまで過去十二年の間に、私がいつも心を熱くして望みまは考へた病める者の癒しに神の力の最も偉大なあらわれがあった

ことを親しく経験しております。そして、学問を誇る不信の徒が、もはやこの病人は助からないほど病いが重い、間もなく死ぬにちがいないとまじめな顔で何度も宣言をしたとき、私はほとんど命のない肉体が徐々ではあるが確実に元気を回復して死の怪物が逃げ去り、ついにその病人が元氣あふれる健康体になったことを見ております。しかしながら、これを為したもうたのはまことに神さまであります。あらゆる讚美を神にささげさせたまへ。

今私は重い病氣の人を見に行くために、百マイル以上の旅行にすぐ出かけなくてはなりませんから、やむをえず筆をおきます。神さまのめぐみがあなたがたすべてと共にあるように。さようなら。

千八百三十五年六月三十日

ジェソン・マック

ソロモン・マック様

これはジェソンが兄弟ソロモンにあてた便りですが、その次に私たちがジェソンについて受けとった便りには、ジェソンとその妻と長男とが亡くなったということが書いてありました。これで私の兄のジェソンについての話をおしまいにいたします。

第十二章 母親ルシイ・マックの夢

私たちがタンブリッジの町に住んでいましたうちに、私のころは宗教という問題を強く感ずるようになりました。これは私がランドルフで病氣をしていたうちに経験した不思議な出来事によつてひきおこされたのでしよう。私はメソジストの集りに出席するようになりました。そうすると私の夫は、私に好意を示すためにその集り

へ一しよについてきてくれましたが、これが夫の長兄の耳に入ると、長兄のジェス・スマスはひじょうにきげんを悪くしてこれについてやかましく言いましたので、夫は行くのをやめるのが一番よいと思いました。夫の長兄は、そのような集りに出たと何の役にもたないことがわかるだろうから、これ以上集りに出ることはほとんど価値がないと思うと言いました。

(註。ジョセフ・スマス(初代)の長兄ジェス・スマスはどんな宗教にもいつもひどく反対していた)。

私のところはこれによってひどく傷つけられました。何にも言わないでだまっていました。私はひとりでそんなに遠くないところにある森の中へ行き、主なる神さまに、私の夫がまことの福音に接してそれを受入れるほど心がやわらげられますように、そうでもなくとも、もっと宗教のことを考えるようになりませうにとお祈りをいたしました。このようにしてしばらく祈ってから、私はひどくがっかりして家へ帰ってききましたが、そのころもちは私が眠りにつくまで相かわらずつづいていました。私は間もなく寝入ると次のような夢を見ました。

「私は大きな美しい牧場に立っていると思った。この牧場は私たちの住んでいる家の近くにあつて、私のまわりにあるものは一つのことら不思議な楽しさを示していた。この立派な牧場の中で私が第一にとくべつな注意をひかれたのは、牧場のまん中を流れているひじょうに清らかなすきとおった水の流れてあつた。私がこの流れについて行くと、その端の方に、流れの両側に一本づつ木が立っているのを見つけた。この二本の木はひじょうに美しくよく釣合いがとれており、堂々とした美しさをそなえて高く高くそびえていた。

この木の枝は、こずえの方から始まってまわりを覆いかくすほどみごとにしげり、これがために木の釣合いは一層よくなり一層立派な木に見えていた。私はこの二本の木のみごとなことを感心してじつとながめていたが、しばしながめてみると、その木の一本には帯がしてあつて、それが磨きあげた金よりもっともつと光りかがやいていた。やがて、一陣のそよ風が吹くと、この金の帯をしている木は風下に向かってやさしくその頭を垂れ、美しい枝がそよ風の中に波うった。その風が強さを増すと、この木はひじょうに活潑な生き生きとした様子を呈し、その動きの中に最大限の歡喜と幸福をあらわしているように見えた。もしもその木が知能のある生き物であつたとしても、今あらわしているほど完全にその歡喜の念をこぼす力であらわすことはできなかったであろう。またその木の下を流れている水の流れさえも、その木が感じているあらゆる感じを共にしているようであつた。木の枝がその流れの上で舞いおどるときにはその流れがしずかにふくれあがるかと思うと、またおきな兒の呼吸のようにやわらかく、しかし日の光のおどるように生き生きとひいて行くからである。木の帯もまた同じ影響を受けていて、それは水の流れと木の動きに一致して動くにつれてたえず輝やきと大きさを増してついにひじょうにみごとな帯となつた。

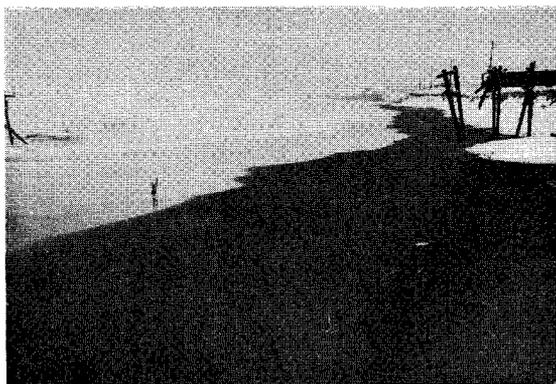
次に、私は反対側に立っているもう一本の木に目をつけた。その木はさきの木のように光りかがやく帯をつけていないで、大理石の柱のようにまっすぐにびくとせず立っていた。風がどんなにはげしく吹きすぎようと、一枚の葉もゆるがず、一本の枝もたわまなかつた。そして、やわらかい西風も大風の力もおなじようにけいべつしてがんに堅くつ立っていた。

私は、このとき見たことを不思議に思い、こころの中で、一体全体これは何の意味だろうかと考えた。そうしたら、この二本の木は私の夫と夫の長兄のジェス・スミスをあらわしている。あの強情がんなこな木はジェスと同じで、もっとすなおな従順な木は私の夫のジョセフと同じであった。この二本の木を吹きすぎて行った天の息吹きは純粹なげがれない「神の御子の福音」であった。その福音をジェスはいつもこぼみつけているが、ジョセフはもっと年をとったら聞いて心の底から受け入れ喜ぶにちがいない。そしてジョセフには平和と幸せと光栄とかぎりなき生命とが増し加えられるにちがいない。これが私に与えられた夢の解き明しであった」。



遠く続く新潟の海岸（1月）

新潟支部小野姉妹撮影



扶助協会 レッスン

「神学」—「教義と聖約第六十三章」
(千九百六十三年四月最初の集り)

第四十七課「しるしを求めたる人」
テキスト「教義と聖約」第六十三章、
章、一一—二十一節

目的—信仰をもっている人々は、
主なる神によって義しいとされるが「しるし」を求めたる人々は、
主なる神から罪に定められることを学ぶ。

「背景」

予言者ジョセフ・スミスは神の都であるシオンの基をおくことや、
聖徒の集合にかかわる多くのことをとりあつかった新しい啓示を受けたミズーリを去ってカートランドへ着きました。そのとき予言者は次のように書いています。

「今わが教会の揺らん期にあたり、
人々ほどのみちわれらの救いにかかわるあらゆる問題につき主のことはたまわらんことを切望せり。
またシオンの地は今われらの考うるもつとも重要なこの世

の目的物なるにより、余は聖徒の集會、土地の買収その他につきさらに導きをたまわらんことを主にねがいもめたり」
「教義と聖約」第六十三章の前書きを見よ。

「悪事と謀叛」

第六十三章の啓示は、汝ら人々よ聞け、主なる神がのたもう啓示のことは心に心をひらけという呼びかけではじまっています「教義と聖約」六三(一)。「すべての人は、神が悪人たちをいきどおっていらつしやるのがわかつていなくてはなりません。教会の会員のなかにも、救い主と誓約をしていない人々とおなじように「首の固い」(かたくな)不信仰な人々の仲間に入れらるかも知れない人があります。

主なる神のいきどおりはまた神にそむく人々にもあらわれています。神の律法にそむくときその人は悪人になります。このような人々は、自分たちに対する神のみどころを知った後に、承知の上で

神に反抗するのであって、ルシフェルと天群の三分の一もこの通りでありました「教義と聖約」二十九(三十六・三十七参照)。

モルモン經に出てくるベンジャミン王は、神の教えにそむく者には「みたま」がお宿りにならないと教えました(モーサヤ書二〇三六—三三八参照)。神にそむく者たちは、福音の原則を受け入れた後に、またその原則に従がわなくなったので罪ありとされるのであります。責任が重いほどめぐるのみ大きいのでありますけれども、もしその責任を果さないときには、責任が重いほどその罪も重いのであります「教義と聖約」二〇二(三、八十二〇三参照)。

罪の重さは、たいせつな教えに従わないほど、また会員がその前に受けていためぐみが大きいほど重いのであります。

「主なる神の力」

人は神が生命を左右し、また人間たちを地獄になげ入れる力をもつておいでになることを悟ったとき、ほんとうに神の力がわかるのであります。「悪しき者叛く者たち」は、彼らの創り主をはばからずに悪を行ったのでありますから、死が彼らをおそいはしな

とおそれています。いつも彼らのところのなかにあるのは「死んでから自分はどうかなるだろうか」という疑問です。神はあらゆることができて「人を地獄に投げ入れること」が世界をほろぼすことさえできるのであります「教義と聖約」六三(三—四参照)。

自分の罪を悔い改めない人々は主なる神のはげしい怒りからのがれることができません。

「見よ、主なるわれ声をあぐれば事従わざるべからず。この故にわれまことに告ぐ、悪しき者たちは要心せよ。叛く者たちはおそれふるい、神を信ぜざる者たちは口をつぐむべし。そは、わが憤りの日は旋風の如く彼らにおそい来りて、すべて生くる者われの神なることを知るべければなり」
「教義と聖約」六三(五—八)。

これとおなじく数々の啓示に、主のみことばにきき従がわらない者どもがどうなるかがくわしく述べてあります「教義と聖約」八十四(九十五—百二、百三十三—七十一—七十三)。これに反して、予言者ジョセフ・スミスは、主のみことばにきき従がう人々には日の栄の祝福が待っていると言っている

十三、ニーフアイ第二書二十〇二
十九―三十一参照)。神はユダの
族ばかりでなくイスラエルのほか
の族、とくにヨセフの族(インデ
イヤン)および万国から集つてき
た末日聖徒のことも忘れておいで
になりません(ニーフアイ第一書
十九〇十三―十六参照)。(三)第三

番目のしるしは、はっきりと今が
末日であることを示すしるしであ
りますが、それは戦争があること
と、戦争のうわさがあること、軍
備が行われていることであつて、
これらは今地球上にはつきりあら
われている病氣、地震、飢饉、大
洪水、そのほか天災地變と相まっ
てたしかな末日のしるしでありま
す(千九百六十年十二月の扶助協
会誌第三十課参照)。以上三つの
しるしは、今が悔改めの時である
ことを人に知らせ、またこれらが
完全な福音に改宗する助けになる
ことを人に知らせる神のみわざで
あります。

「教会員であつてしるしを求め
る人々」

千八百三十一年の八月に第六十
三章の啓示が下つたとき、教会員
の中にはしるしを求めてこの教会
へ入つてきた人々がありました
た。これは今日でも真理をもつと

よく信じたいために奇蹟があらわ
れるのを待つていてある人があ
れるのとおなじことでありませ
ん。そのような人々について、主
なる神は第六十三章七―十二節の
ことばを与えておいでになりま
す。

主なる神は真理を確信するため
にしるしを求めらる人々をおよ
こびにいらませぬ。しるしを求め
るとき、いろいろなしるしを与え
られるでしょう。しかし、そのし
るしは求める人々が欲している
ようなしるしであるとはかぎりま
せん。それらは、悪のために与え
られるさばきの形で与えられるか
も知れませぬ。キリストの時代に
しるしを求めた人々は「邪悪で不
義な時代」(マタイ伝十二〇三―
三十八―三十九参照)の人々の仲間
に入れられました。しるしを求め
る人々は神を信ずる信仰がないこ
とを示しています。それですから、
これらの人の救ひとしてあらわれな
いのであります。

「しるしを求めらる人々の例」

しるしを求めらる人々のいちじる
しい例はモルモン経に出ていま
す。この人々は信仰がなかつたた
めに確かな信仰を与えるしるしと

して、神の力を見せられることを
ねがいました。イエスがこの世へ
おいでになる数百年前に、シェレ
ムというあるニーフアイ人は、リ
ーハイの息子のヤコブやそのほか
の予言者たちが予言をしたよう
に、キリストがこの世へおいでに
なるはずがないと言いました。宗
教家と称する多くの人も含めて
現代の懷疑主義者の多くが言うよ
うに「誰も未来に起ることを先に
言うことはできないから、一人も
このような事を知つてはいない」
と言いました(ヤコブ書七〇七参
照)。ヤコブはこれに対して、神
の予言者の予言は真実であつて、
キリストはかならずこの世に來り
たもうと、おごそかにあかしをし
ましたが、シェレムはそれならし
るしを見せてくれと言いました
(ヤコブ書七〇十一―十三、十四
―二十一参照)。

予言を否定しキリストの降臨を
否定したもう一つの例は、モルモ
ン経に出でくるコラホルでありま
す。コラホルのしるしを見せたく
れという要求に対してアルマは神
がましますことを次のように述べ
ました。

「汝はもはや充分のしるしをも
つてゐる。汝は自分の神を試みよ

うとするか、汝の同胞であるこれ
らの人々の証拠とすべての聖い予
言者の証拠とがあるのに、まだ私
にしるしを見せてくれと言うの
か。見よ、聖文が汝の目の前にあ
るばかりでなく、万物は神のある
ことを示している、大地もその表
面にある万物も、大地の運動し
る各々秩序正しくその軌道を運行す
る天体も、みなことごとく全能全
権の創り主があることを証明して
いる」(アルマ書三十〇四十四参
照)。

「たいせつな原則」

アルマが言つたこの答えは、そ
のほかの数々の経験と共に、神は
人をかたより見たまう御方でない
ならないという事実にもとづい
た、たいせつな原則を強調してい
ます。主なる神は万人におなじし
るしを下さいますが、もしこの人
々が信仰をもつてしるしを受けな
いなら、その行いは神からとめ
られるにちがひありません。

忠実な教会員がけんそんなこ
ろで神の栄えのために人のために
なることを祈りもとめるなら、多
くの「しるし」が与えることでし
よう(ヨハネ第一書三〇二十二参
照)。「しるし」は信仰によつてあ

らわれ、それはまた義しい行いを起します。人はたえず義しい行いをし、またいよいよ義しい行いをすると、信仰を強めることができます。

けんそんな聖徒たちが受ける数々の「しるし」。この聖霊がたまわぬ数々の祝福であり、千九百六十二年二月の扶助協会誌第三十二課参照。これらの祝福は、受ける者の信仰を強め、神の力を与えることになるのでありますが、もともと会員が救われぬために与えられるのであります。

福音では、奇蹟が改宗をさせるための道具として使っておりません。奇蹟によって改宗した会員は、奇蹟を求めて得られないと教会を離れるということは末日聖徒にとって通則になっています。

ブリガム・ヤング大管長は次のように宣言しました。

「善き羊飼いのみこえがきこえるとき、きこころの正しい者はそれを信じて受け入れられる。霊をもってあじわい、霊の眼で見、かぎりなく生きるみたまを感じることはすばらしいことである。姦淫をする者、みだらな行いをする者、貪ぼる者、邪神をおがむ者のほかにだ

れも奇蹟を求める者はない。ことばをかえて言えば、善良な誠実な人であつたらけつて奇蹟を求めようとはしない」（説教集八〇四十二参照）。

「罪があらわれる」

忠実な教員が、自分のためにまた神の栄えをあらわすためにねがつて「しるし」（奇蹟）を与えられたとき、その「しるし」は霊のたまもが福音の一部であることを証明しています。しかし、そのころが暗くまた罪を犯しているために、教員の中には「しるし」（奇蹟）によって神の存在もしくはイエス・キリストの教会がまことであることを証明したいと思つてゐる人々があります。千八百三十一年にはこのように思つていた教員が何人かありました。道徳的に清くあれという誠命がすでに与えられていたのかかわらず、その誠命にそむいていた人々がありました。

「教義と聖約」六十三〇十三参照）このように誠命にそむいた人々のなかには、姦淫の罪を犯した男女があつて、その多くはすでに信仰からはなれてしまつていました。そのほかにまだ背教してはいなかつたけれども、その後その罪があらわれるはずの者たち

がありました（「教義と聖約」六十五〇十四参照）。この十四節とそれにつづく十五節に示してある考えは、現在罪に誘われている者たちや、罪を犯してまだ悔い改めていない者たちによくわかつていなくてはなりません。今後その罪があらばれたら、その前に罪人と呼ばれるのはまさにこの人でありませぬ。

次に申しあげる重要なことは、不道徳を行う前には、まず不道徳な念をこころに抱くという、別の啓示に述べてあることばであります（「教義と聖約」四十二〇二十三参照）。教員が不道徳な考えをこころに抱くときには、その結果「みたま」をうしなひ、信仰を否定し、それがためにまた現在にも永遠にもおそれを抱くようになるのであります（「教義と聖約」六十三〇十六、千九百六十年九月の扶助協会誌第二十七課参照）。

「罪人の受ける罰」

ジョセフ・F・スミス大管長は「神の正義という性質を強調して、いるすべての原則は、万人は善悪にかかわらずその行為に応じたむくいを受けるということである」と言つておられます（「福音の教義」〔英文〕第九版六十九頁）。

この真理にもとずき、主なる神

は悔改めをしない罪人がおちいる最後の状態について多くのことを啓示しておいでになりました。神についての知識をもつていながら承知の上で罪を犯す人々に与えられる救ひの種類については後に啓示されたことばとおなじことばがその啓示に示してあります。偽わりの教えを信ずること、またはこの神権の時代に当教会に回復されたいろいろの教義を信じないということばは、教員が或る種のいつわりを言う、またはまちがつた信仰を宣べるといふことであります。当教会の会員は誓約によつて、主なる神が啓示された教義を信じ、また原則を実際に行うという責任をもつています。偽わりを言い、また不道徳なことを受けて不道徳を行う者の罰は「星の栄」を受けることでもあります（「教義と聖約」六十三〇十七、十八、七十六〇九十八―百七参照）。

これらの人は「消えざる火」にひとしらの心のかしやくを受けて永遠の火の復讐に苦しむのであります（モーサヤ書二〇三十七―三十八参照）。「燃ゆる硫黄の湖」の苦しみを受ける霊の苦しみは予言者ジョセフ・スミスが次のようにしるしています。

「人間は自己の仕業によって苦しみました罰を受けるものである。それであるから、彼らは燃ゆる硫黄の湖に行くにちがいないと言われるのである。人間のころにある失望の苦しみは燃ゆる硫黄の湖で受ける苦しみのごとくはげしい。私は言う、人間の苦しみはまさにそれのとおりである」と（教会記録歴史第四卷三三四頁）。

当時教会員の中に不道徳な人々がありましたから、中には教会から離れた者もあったけれどもそのほかの者は悔改めをしないと探し出されました。このような状態をそのままにしておいては、教会員は義しいと言われなくなるからでありました。「教義と聖約」六三〇（十九参照）。主なる神は、もしこれらの者がすみやかに悔改めをしないと破門をしなければならぬと定めておいてになります（「教義と聖約」四二〇—二四一—二六、八十一—八十一、八十七参照）。

「忠実な会員は義しいとされる」
しかしながら、耐えしのんで終りまで誠命を守る者たちには、現在思いもおよばないほどの大きな祝福が約束してあります。
「さりながら、信仰して堪えし

のびわがころを行く者は勝利を得て、地球の本質変るとき至らばこの世においてゆずりの地を与えられん」（「教義と聖約」六十三〇—二〇）。

聖典を学ぶ者たちにとって「勝利を得て」ということばはよく出てくることばであります。この二十節で使つてある「勝利を得て」の意味は、信仰をもっている人が罪深い習慣またはその人の永遠進歩のさまたげとなるものうち勝つて罪の束縛から解放されることであります（ロマ書二十一〇七、一七）。「教義と聖約」八十四〇—三十八参照）。

「地球の本質が変るとき」
信仰によって「勝利を得る」人々には、この地球上にゆずりの地を与えられると約束してあります（マタイ伝五〇五）、この目的をもつてこの地球は創造されました（「教義と聖約」八十八〇—七—二十参照）。しかし、日の栄の体をもつ者たちが住むところとしてこの地球が日の栄のような状態となる、すなわち地球の本質が変る前に、地球は新たに生れる過程を経ると主なる神がお言いになりました（マタイ伝十九〇—二十八参照）、それは地球が再び楽園の状態に回

復されるからであります。「信仰簡条」の第十条に「地球は元にあつたまりて楽園の栄えを受くる」としてあります。このように、地球は現在の「星の栄え」のような状態に「墮ちる」前の状態に変わるるときに、前にあつた楽園の状態にもどるのであります（「教義と聖約」の註解—英文三七七頁参照）。

考察のための質問

- (一) 現在の世界にあらわれている「しるし」としてレッスンにあげてある三つの「しるし」を言いなさい。
- (二) これら三つの「しるし」は、どうして主なる神がこの末日に天からみことばをたもつたという事実を支持する強い証拠になりますか。
- (三) 忠実な聖徒に「しるし」を下さる目的は何ですか。
- (四) 第六十三章に示してあるどのよるな祝福が当教会の忠実な会員に約束してありますか。

「社会科学」

（千九百六十三年四月第四回の集りて）
神の律法と教会制度
「教会制度の基礎」
第六課「神の律法に段階があること」

目的—人類に神の律法を適用するの、あらわれた神の知恵を示す。

この教課の主題が表示しているように神の律法の提供と進展には過渡的段階があつた。
神の律法の根本と基礎は常に不変にとどまっていたがその律法の変更はそれの教への強さは各神権時代によって相違している。そして理解されることのみが啓示された。

神は或予言者たちと共に歩き共に語つた。又他の者には啓示を以て、又天使の訪れを以て連絡して、人間社会が進展するにつれて、律法のより大きな細目が与えられた。
神の導きは、人の協力的な態度によって左右された。

モーセが指導者の時代、イスラエルの民は、エジプト人たちの俗事に没頭して、なかなか悔改めなかつたので、目には目を、などの肉体的な律法を与えられた。彼らは義にさからつたので遂に主は高い神権を取り上げて単に一時的な律法だけを残した。これが彼ら理解出来るすべてであるように見えた。

時の絶頂、に於てキリストは

自ら現れ給い(すべての予言者によつて証されていた)律法を成就し、メルケゼデク神権を回復し、教会を組織した。彼の教会制度の根底には、アダムに啓示されたのと同様の神の律法が見られた。比較的小さな彼自身の一団だけが彼を受入れた。アダムの時以来、キリストの時代程、福音が完全にはつきりと、容易に理解されるように説かれた時はなかった。(ジョン・A・ウイゾソ 合理的神学)

その後数世紀の内に背教を通じて神権と教会制度は地上から取上げられてしまった。

暗黒は世を蔽い、人の心甚しく暗くなり、一切の人々はわが前に腐敗するに至るべし。(教義と聖約 百十二〇百二十三)

時満ちた神権時代に主は、その創造の完全な目的を人が自覚することを助けるべく与えられたすべての権利、鍵、能力及び権威を回復されたのである。ウイットオ博士は、この時期を参照して次のように言っている。

遂に暗黒を打破つて英知は人々の間に流れ渡り、思想の自由が生長し導ばれるようになった。福音は神権の権威及び教会の組織と

共に回復されたのであった。

(ジョン・A・ウイットオ

神権及び教会制度 二十五頁)

神の律法はすべての人に指示と刺戟を与える。

アダム及びその子供の時代から、主はその僕にイエスキリストの使命と、人が天よりの祝福と神よりの約束を受ける為に、悔改のバプテスマを受けることによりもたらされる主の救いの能力に就て、すべての人に教えるように命ぜられて来たのである。

人に悔改めを呼びかけるこの命令は、すべての予言者によつて繰返し強調されて来た。アダムの時代には、……主なる神は聖霊によりて至る所人を呼びその悔い改むべきを命じたまえり。(モーセの著 五〇四)悔い改めた者はすべて祝福を受けたが悔改めざる者の進歩は止った。

洪水の前に予言者に任せられたノアは、人の子に悔い改めよと呼びわった。(モーセの著 八〇二十)主はアブラハムに告げて彼の子孫は、万国の民にこの導きと教えを施す職と神権とを携えて行かん。(アブラハムの書 二〇九)と告げられた。キリストはその使徒たちを全世界に遣わされた。黙

示者ヨハネは福音はもろもろの国、族、言語、民に宣伝せられるであろうと宣言した。(ヨハネ黙示録十四〇六―七及び教義と聖約百三十三―三十七―三十八参照)

「神の子の散乱」

私たちは聖文中の人の記録に就て調べて見ると比較的わずかな人が神の律法に定められた指示に従つたことに印象づけられる。

アダムの叛逆の子は神の面前から締め出された。そして、エデンの東なるノドの地に住んだ。(モーセの著、五〇四十一)

ノアの子孫は、全地の表に散らされた。(創世記 十一〇九)アダムの直系であつたアブラハムは、その義と祈りを通じて主によつてその生命を保たれ偶像の地より、救主の生れ来る系統を保存することの出来る地へと導かれたのである。

神権時代から神権時代へと世の不信者たちは増えて行つたのである。そして偶像崇拜者異教徒及びキリストの神性を使命を信じない者たちが世の大部分を占めるようになったのである。

世の記録は、早期の人類は独裁者によつて支配され、主として他の攻撃を防ぐか、他を侵略する為

に組織されていたことを示している。

人類は試練と誤謬と調査と経験を通じ又、その知恵と理性と反省と神の栄光と、世に来るあらゆる人々に光を与える。(教義と聖約八十四〇四十六)みたまを通じて文化を積み重ね、ゆっくりと苦勞しつ、彼らの状態を今日のような成果に改善して来たのである。人間がその英知を用いて進歩することは、彼の起源の神性なることの反射に過ぎない。

人類の文化の進歩は破壊的武器の発達に緊密に結びついている。巨大な国民の勃興は、知的達成と発明的才能の競争の效果的武器への適用との結合を示している。それは同様に人々を創造した神の目的に対する理解の欠如を示している。今日、人類は破壊的能力発達

の最高に到達している。現在人の知識を通じて私たちの文明を破壊する物體的な能力が実在しているのである。俗世の記録に於て能力が人類の発展に重要であることを示しているのに対照して宗教の記録に於ては愛と理解が英知の生長と文明の進歩により直接的な関係を持つていることを強調している。愛はイ

自ら現れ給い(すべての予言者によつて証された)律法を成就し、メルケゼデク神権を回復し、教会を組織した。彼の教会制度の根底には、アダムに啓示されたのと同様の神の律法が見られた。比較的小さな彼自身の一団だけが彼を受入れた。アダムの時以来、キリストの時代程、福音が完全にはつきりと、容易に理解されるように説かれた時はなかった。(ジョン・A・ウィットソ 合理的神学)

その後数世紀の内に背教を通じて神権と教会制度は地上から取上げられてしまった。

暗黒は世を蔽い、人の心甚しく暗くなり、一切の人々はわが前に腐敗するに至るべし。(教義と聖約 百十二〇百二十三)

時満ちた神権時代に主は、その創造の完全な目的を人が自覚することを助けるべく与えられたすべての権利、鍵、能力及び権威を回復されたのである。ウィットソ博士は、この時期を参照して次のように言っている。

遂に暗黒を打破つて英知は人々の間に流れ渡り、思想の自由が生長し尊ばれるようになった。福音は神権の権威及び教会の組織と

共に回復されたのであった。

(ジョン・A・ウィットソ

神権及び教会制度 二五頁)

神の律法はすべての人に指示と刺戟を与える。

アダム及びその子供の時代の使命と、人が天よりの祝福と神よりの約束を受ける為に、悔改のバプテスマを受けることによりもたらされる主の救いの能力に就て、すべての人に教えるように命ぜられて来たのである。

人に悔改めを呼びかけるこの命令は、すべての予言者によつて繰返し強調されて来た。アダムの時代には、……主なる神は聖霊によりて至る所人を呼びその悔い改むべきを命じたまえり。(モーセの著 五〇四) 悔い改めた者はすべて祝福を受けたが悔改めざる者の進歩は止つた。

洪水の前に予言者に任せられたノアは、人の子に悔い改めよと呼びわつた。(モーセの著 八〇二) 主はアブラハムに告げて彼の子孫は万国の民にこの導きと教えを施す職と神権とを携へて行かん。(エブラハムの書 二〇九) と告げられた。キリストはその使徒たちを全世界に遣わされた。黙

示者ヨハネは福音はもろもろの国、族、国語、民に宣伝せられるであろうと宣言した。(ヨハネ黙示録十四〇六―七及び教義と聖約百三十三〇三十七―三十八参照)

「神の子の散乱」

私たちは聖文中の人の記録に就て調べて見ると比較的わずかな人が神の律法に定められた指示に従つたことに印象づけられる。アダムの反逆の子は神の面前から締め出された。そして、エデンの東なるノドの地に住んだ。(モーセの著、五〇四―五)

ノアの子孫は、全地の表に散らされた。(創世記 十一〇九) アダムの直系であつたアブラハムは、その義と祈りを通じて主によつてその生命を保たれ偶像の地より、救主の生れ来る系統を保存することの出来る地へと導かれたのである。

神権時代から神権時代へと世の不信者たちは増えて行つたのである。そして偶像崇拜者異教徒及びキリストの神性の使命を信じない者たちが世の大部分を占めるようになったのである。

世の記録は、早期の人類は独裁者によつて支配され、主として他の攻撃を防ぐか、他を侵略する為

に組織されていたことを示している。

人類は試練と誤謬と調査と経験を通じて又、その知恵と理性と反省と神の栄光と。世に来るあらゆる人々に光を与える。(教義と聖約八十四〇四十六) みたまを通じて文化を積み重ね、ゆつくりと苦勞しつ、彼らの状態を今日のような成果に改善して来たのである。人間がその英知を用いて進歩することは、彼の起源の神性なることの反射に過ぎない。

人類の文化の進歩は破壊的武器の発達に緊密に結びついている。巨大な国民の勃興は、知的達成と発明的才能の競争の效果的武器への適用との結合を示している。それは同様に人々を創造した神の目的に対する理解の欠如を示している。今日、人類は破壊的能力発達の最高に到達している。現在人の知識を通じて私たちの文明を破壊する物體的な能力が実在しているのである。

俗世の記録に於て能力が人類の発展に重要なことを示しているのに対照して宗教の記録に於ては愛と理解が英知の生長と文明の進歩により直接的な関係を持つていることを強調している。愛はイ

エス・キリストによってもたらされた人生及び救いの計画の原動力である。それは人類が知る限り、於て人々の心に平和をもたらず唯一の能力である。

「神の指示は、人を神に到達させる」

子供は通常、両親の性格を受けつぐものである。人が神の霊の子であり、又肉体的に神の形に造られたことは、その進歩がただ彼の野心と個人的な適用によってのみ制限されることを物語っている。彼の神への結びつきは確かに、彼の理想に完全なるものを備えているのである、目標を持つことが進歩の第一条件である。天父に近づくことが人の理想であるからには人は当然高められるようになるのである、この概念を理解するには、人は創造者の霊とその波調を合わせなければならない、これは神の律法を認め従うことによつてもたらされ、聖霊によつて証され、神の命ずるところによつて執行されるのである。

神が人を造り、この地を治めるようにと人をこの地上に置いた時、その心に、現状に満足しない種を播かれたのである。神の御心は人がこの地球とその中にあるす

べてのものをよく調べ、それがどのように出来ているか、その秘密を学び、その隠された能力を人類の福祉の為に、用いるようにすめているのである。ひたひたに汗して、は永遠に手で労働することの意味していない。それは人が、その肉体と知能と霊的能力を用いて未知なるものを探求するようにとのチャレンジ（挑戦）である。人はその必要を満たすように与えられたすべてのものの効用を見出し、これを生かもし処理して、すべての生けるものを治めるようにさせられたのである。

私たちは真理と光は永遠であると教えられた。（教義と聖約八四〇四四—四四六参照）そして人は正しく考えることによつて、その光と真理を発見することによって、いろいろの用途を見出すことにより、彼は知識を増大し、それを有益な用途にあてるのである。このようにして人は理想に向つて進歩発展するのである。

神の進歩の原則は人に適用された。神の律法は生長、進歩をして終局の昇栄の為の責任を各人の上に置いた。けれども主は、人の経験

と進歩に適應した指示を備え、靈感と啓示を通じて、これを得ることが出来るようにした。

「選択の律法」

人に選択の特権を保証する永遠の法則がある。それであるから、主なる神は随意に行う自由を人間に許したもうた。……それであるから、人はみな現世に於て自由であり、（ニーフアイ第二書、二〇六、二十七）これには二つの状態が緊密に結びついている。選択の機会と、それに伴う責任である。真に選択の自由を享受する人は律法を知らねばならない。律法に約束された祝福を受けるには、人は自身の自由意志と選択により律法の要求するところを正し

い自己の判断に基いて実行せねばならない。真の徳は善悪をわきまえ善を選ぶことを知っている。

「この世は訓練所である」

選択の権利と神の導きを受けることを以て人は彼に与えられた機会と同等の実行の責任を有するのである。選択の自由はこれに対応するものなくしてはあり得ない。それはすべがの物事には必ずその反対のものがないならば、正義も不

正も聖潔も憐むべき様も善も悪も生ずることができぬ。（ニーフアイ第二書 二〇一）

人は祈りをも含めて経験を通じて、神との関係及び神の創造に就て学ぶ。霊的に神の子である人は神性の衝動を持ち、それが神の導きを求めるようにさせるのである。人間の生涯は、知的に又霊的に生れ持った能力を発展させる為の時間と機会を提供するものである。すべての人間関係に於て、自分の好みと望みを、自分を空くして他人のことを考える線に合わせる事が、この世の主な訓練である。

人は文化を代々伝えて行く能力を持つてゐるので過去の経験に建設して行くことは可能である。この意味に於て各時代はその前の時代の肩の上に立っている。新しい時代の進歩は受けついで文化のほうちよう度によつてはかれる。

繰返して言うなればこの訓練所は霊的に肉体的に知的に進歩する機会を私たちに与えるのである。人はその目的の為に機会と能力を如何に処置すべきかを見出すのである。それは人自らの中に自由の意志ありて己の事を自ら為す者なれば

なり。従つて人善を為さば決してその報いを受わざらん、されど命令を受くるまでは何事をもなすことなく、疑いの心を以て命令を受け、これを不精不精に守る者は救われず。(教義と聖約 五十八〇二十八—二十九)

「仕事は進歩の基礎である」

最初の家族が、この地を治めるように任命された時、それは肉体的に困難な仕事であると考へられた。主は、汝は面に汗して食物を食ひ、と言われた。(創世記三〇十九) アダムは生きる為に雑草やあざみを克服しなければならなかつた。彼は自らの手で働らき、問題を解決する為に、その才能を用いなければならなかつた。これは思索と理性と信仰及び靈感を含んでゐる。

現代の聖文に主はその民の間に怠惰なる者の居る場所はないと言つて居られる。

汝怠惰なることなかれ。およそ怠惰なる者は働く者のパンを食するべからざればなり。(教義と聖約四十二—四十二) 聖文は日の榮えに高められる為に本質的なものとして神が仕事を任命されたことを示している。

聖文から私たちが働くことは大切なことであることを拾ひ読む。実際に於て貴方がほんとに勘定出来ることは、貴方が自ら為したことだけである。ただ御言を聞くのみにして己を欺く者とならず、之を行ふ者となれ。(ヤコブ書一〇二二)

昇天の為に神が与えた指示は絶えず啓発を追い求めることである。生長は肉体的な律法であると共に靈的又知的律法である。勢力を費し、努力することなしに生長、發展又は啓発はないのである。

この地を従えろと言ふことは、常に努力してその要素を発見し、これを人類の為に用いることを考へる為の不断の苦闘を意味しているのである。この地を従えろ、と言ふことは又知的意味を含んでゐる。何となれば予言者、ジョセフ・スミスは言つてゐる。人は無智にして救われること不可能なり。(教義と聖約三一〇六) このチャレンジは靈的にも同様である。

神の榮光は英智なり。すなわち、光明と真理なり。(教義と聖約九十三—三十六)

前述からして人はこの地(物質)と人生(人間關係)と神に就ての

知識を得ることによつて救われると言ふことが出来る。これはすべて一時に達成されるものではない。けれども私たちがそれを理解し得るようになったときに可能となるのである。見よ。汝らは幼児なり。今はすべてのことに堪ゆる能わず。されば、汝らは恩恵と真理の智恵に於て生長せざるべからず。(教義と聖約五〇—四十四)

「時の絶頂」

時の絶頂には二通りの意味がある。宗教的には、私たちは、それが福音の計画の絶頂であることを意味しているものと知る。更にもるもろの人をてらす真の光が世に來ることが実現したのである。各神権時代に、その文化の發展を助成した人智の啓発に貢獻した創造力を持った人が居た。今日私たちは幸いにも會て神がその子たちに与えた生活上のすべての規則をその説明と共に全部受けてゐるのである。私たちは人類が今迄に積み重ねて來た有用な事実と情報の大集積を所有するのである。

この集積から発見及び發明が非常に増加したのである。知識の増大には際限がないようである。この發展は完全な福音、及び教会組織内の神権の回復と共に人類に、

その創造者の計画に従つた目標を確証したのである。

今や人類は豊富な知識と、それによる刺戟により意義のある生活をしようとして最大なる機会に直面しているのである。通信及び交通機關の發達はすべての國民の効果ある相互理解を可能ならしめる。生産能力はそれを生産的に用いるなら、人類の需要を満たすに充分である。

真に世界のすみずみから輝かしい考え、理想が殺到しているのである。現実には只、人間關係及び相互理解の内にその遅れが見られるのである。これがイエス・キリストの福音の使命である。若しも福音のおとずれが、すべての人の心に達するならば、適切な動機は靈感された人々を動かして地上に於ける神の王国への道を開くのである。

考察のための質問

一、神の律法は何時、いかなる処に於て適用すべての人に同じ力を以て適用されるものであるか説明せよ。

二、アロン神権とメルケゼデク神権の相違は何であるか?

三、どうしてメルケゼデク神権はイスラエルの民から取上げら

れたのか？

四、この世に来るすべての人に

光を与える霊を如何に理解するか？

五、私たちが非常に発達した文明の中に生きてゐることは明らかである、主は以前の神権時代の聖徒たちよりも今日の聖徒たちにより一層の完全さを期待してゐるであらうか？
あなたの答えを弁明しなさい。

「仕事会」

千九百六十三年四月第二回の集りて

考察その七「末日聖徒の家庭は、節儉の模範である」

目的 家族の人々は働くことと財源を賢く使用することによって安全という感じを知ることを示す。

この考察の主旨は綴表を用いた四項目を示す。

一、家計を赤字にしないように予算を立てる。

二、高価な利息を考へて、信用流用を避けること。

三、屑籠をよく見て資源を賢明に利用するようにする。

四、家計をよく節約して収入を増

加する。

考察その一の家庭価値検査は安定性の家庭価値を検討することから始められた。負債をなくし、資源を賢く使用し、不慮に備へ、信頼を得ることは、この価値を自覚する為には本質的なものである。多くの家庭が無謀な赤字家計から上記の条件による安定性を知らずに居る。赤字浪費者は予算を立てない。彼らの金銭は自動的のいづれも変りない月払いに追われて行く。実業界は誘因調査により家族の者を同様の方法で浪費に導くことが出来ることを学んだ。私たちは二度の休みに二つ目の車を買う為、すべての備品をひっくりかかして後に支払うことが常習となり収入の前に支払小切手は振出され

てしまふ。新しく結婚した或夫婦の樂觀主義は驚くべき程である。彼らは不

断の経済ほうちようと、将来の繁栄は自然に、今日の支払いを償つてくれるので、何も節制する必要はないと云うのである。若しも商人が地方銀行と支払をくめんすることを取決めたと報ずると、彼らは安心して借金生活を始め、それが永続的なものになつてしま

うのである。赤字家計の浪費生活は人々を無感覚にし借金を増大させる。この傾向が増大して行く

と、節儉、創始、挑戦、克己などの言葉がすたれてしまふのである。信用流用の結果は赤字家計となる。それは掛売勘定を設けない人たちに對し小売業者が認めるものである。或家庭が二百弗以内の信用流用を受けたとすると、その残高の分割払の時に毎月一パーセントから一・五パーセントの利息を支払わなければならない。一度その家庭がこのわなにひつかかつたら容易にぬけ出すことが出来ないのである。何となれば彼らは常に限度迄買おうとするからである。

その家庭は、この便宜に對して年に十二パーセントから十八パーセントの利息を支払うことになるのである。

或家の主婦は表口から入る収入よりも早く裏口から屑籠にお金を捨て、いる。注意して、まかなうことにより又残存物を利用することにより恐らく或種の食物をつくり出し、これにより節約して家計を助けることが出来る。

をしたが、彼女は無報酬の奉仕を以て物品購入及び雇傭に代えることにより家計上実際の収入を増大することを発見した。如何にして物品購入を奉仕に置代えることが出来るであらうか。その答えは働

の人が自分の分担を以て貢献することである。若しも貴方が次のような物を買

うことが出来ないなら、洗濯機—貴方はブランジャー又は洗濯板及び腕を使う

Tポーン・ステーク(肉の多くついた)—貴方はもつと安い蛋白源を見つけて、もつと多くの時間をかけ努力をする。

定期市の券—自分の庭を自身の見本市とする。

新しい衣服—旧い材料から新しいものを作成する。

台所の新しい食器棚—包装箱と鋸とハンマーと釘を用いる。

このようにいちいち挙げるときりがないが要するに、節儉の意義をわきまえ、収入内で支出する予算の立て方を知り、あらゆる面に節約することを知っている一家の主婦はその家計を豊かにし、同時

に彼女は家族の者に如何にして出費超過のわなに落ちないようになることが出来るかを教えることが出来る。

末日聖徒の家族は旧式な節儉と言う道徳を信じ、資源の利用を計画し、生活費又は教育費及び予備費を除いて、出費を慎重、借金することなく、収入で予算をくむようにする、彼らは受くるよりも与えることに、より多くの関心を持ち、自分の欲しい物を買う前に自分の一その他の献金をするのである。彼らは教会と社会に奉仕し、その子供たちを学校や伝道に送るのである。何年かの後には彼らは質屋への道でなくて繁栄への途上にある自分自身を見出すのである。

考察のための質問

(一) 主婦が衣類や家屋や家具を通じて実収を増大し得る具体的な例を示せ。

(二) 私たちは如何にして単に節約という見地からだけでなく、個人的な進歩発展の為に或種の作品を家庭にもたらすことが出来るであろうか、例えば家庭食品の作成と保存、衣服の作成及び家具の製作などである。

訪問教師のメッセージ

(千九百六十二年一千九百六十二年四月の第一週に)

「教義と聖約」にもとづいて実践する真理

メッセージ第四十七

「われ汝らには至當ならず」(教義と聖約五十八〇二十六)

目的一人が卒先と自主独立の性質を発達させるのは、自由意志の行使によることを強調する。

自由意志は福音の基礎をなしている。実際に、天国に於ては自由意志の上に戦争が行われたのであった。

私たちの天父は私たちが正しい原則に従って生活するようにすめた。天父は私たちの導きとして律法と誠命を私たちに与え若し私

たちがそれに従うなら、この世に於て幸福を得、来世に於て喜びを得ることを確証したのである。けれども天父は私たちが、これらの原則を適用し、これらの誠命に従うに際して、私たちが自身の判断に任せ自由意志を用いることをお許しになられた。このようにして

私たちは、はじめて学び、生長し進歩することが出来るのである。自由意志の一つの目的は、私たちが

をして、すべての事を命ぜられる必要がないように充分な主導性を発展させる為である。実際に予言者、「ジョセフ・スミスはどのようにして、その民を治めているかと問われた時に「私は彼らに、正しい原則を教え、彼らは自らを治める」と答えた。

この生活上の賢明な原則は、教主の、無益なる僕、のたとえ話にも強調されている。このたとえ話でイエスは次のように問うている

「僕、命ぜられし事を為したればとて、主人これに謝すべきか？」
教主は自らの間に否定して答えている。「かくのごとく汝らも命ぜられし事をことごとく為したる時『われらは無益なる僕なり、為すべき事を為したるのみ』と言へ」(ルカ伝七〇十)

私たちは主の特別な誠命に従うばかりでなく、有益な僕となる為には余分の一哩を歩み、善を為し真のクリスチャンとしての生活をするように自発的に自由意志を用いて努めるべきである。

私たちの天父が私たちが自由意志を用い自ら判断するように、すすめる一つの理由は私たちが自信と確信を強めることが出来るようにする為である。

古いことわざに、或錬金術者が原鉱石を純金に変える或特別な要素を探したが、この稀な要素は逃避してどうしても見出すことが出来なかつた。

同様に稀な性格はそんなに逃避的ではない。この重要な性格の要素は、自信と謙遜の結合したものである。生活を成功させるには、神から与えられた私たちが自身の才能と能力に対する信頼と確信を持たねばならない。

プラトは次のように言っている「貴方の生活に責任を持って、そうすれば貴方の思う通りに生活出来る。」

彼は自立の精神に富んでいる者は常に自己の能力を阻害している欠陥を発見し克服して行くことをよく知っていたのである。

或人は賢明にも、こう言った。「如何なる人でも単に自己の義務を果しただけで、人生に大成功をもたらす、永遠の生命に充分な備えをすることは出来ない」

教義と聖約には次のように返べてある。
それは、すべての事己むを得ざれば為さざる者は怠惰なり、賢き僕にあらざればなり。これを以て彼は良き報いを受くることなし。

(教義と聖約 五十八〇二十六)

ヘンリー・D・モイル副管長はこの主旨を美しく言い表わしている。

「我々自身が行動しなくてはならない。我々は自身の自由意志を以て真理の探求に卒先しなくてはならない。我々がそのようにする時に主は我々の心を聖霊で充たして更に前進させてくれる……」

お互に主のすゝめに従って自発的に、すべての事をなし、多くの正しい事を為し遂げようではありませんか。何となれば主は次のように言って居られるではありませんか。

「それは人自らの中に自由の意志ありて、己れの事を自ら為す者なればなり。従って人善を為さば決してその報いを受わらん。」

(教義と聖約五十八〇二十七—二十八)

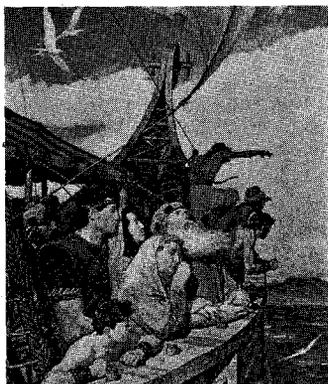
今月の表紙

リーハイとその家族、約束の地に着く。

参照聖句

ニーハイイ 第一書 第十八章四節
~二十三節

ニーハイイ 第二書 第一章五節
~七節



編集後記

▲まだまだ春の訪れはおそいようだが、とくに新潟、金沢地方のみなさんの所、雪害はいかがだろうか。編集部も二月月号が発送不能になってしまつてあわてました。

▲その寒気にたえて、つばみをふくらませる梅の便りも今年は例年よりおそいようだ。しかしあの寒気にたえて咲いている梅の花は、一見、よわよわしうにみえても、どこか苦境に耐えぬいたものだけを持つ、誇りにみちに美しきがあるような気がする。私たちが苦境に打ち勝つてこそ、▲「聖徒の道」が今年各地で順調に売れているようだ。まだ宣教師のかたがたに負う所は多いが、一日も早く健全な運営がとられるように望みたいものだ。

▲今月号は写真が多い。沖繩から、長嶺兄弟、北海道地方部大会に出席した東京中央支部の奥山兄弟、飛行機で大会参加とシヤレこんで機上から撮ったのが扉の写真だ。若手県の上空らしいが、はっきりしたことは彼も知らぬらしい。目次上の写真と新潟の雪の写真は新潟支部の小野武子姉妹から寄せられたもの。白鳥は瓢湖の水原で撮ったもの。寒

かったことでしょう。▲一年予約をなさっている方に、最近、着いたり着かなかったりする事故が多いようです。住所変更などの場合、住所、氏名、期間をはっきりと明記してください。そしてなるべく支部で買ってくだされい。

(K)

<p>月刊「聖徒の道」第七巻第三号 一九六三年三月一日発行</p> <p>実価 一カ年 九二四円共 半年 四五六円共 一部 七十円</p> <p>編集兼 発行人 ダウエン・N・アンダーセン</p> <p>発行所 東京都港区麻布広尾町十四 末日聖徒イエス・キリスト教会 北部極東伝道部</p>

MARCH - THE STORY

IN THE BEGINNING

In America, during the month of March, the wind blows very hard. The boys and girls *fly* kites and we think of the sky and things that fly. Many years ago, men did not know how to fly. There were no big airplanes *carrying* people *all over the world*, as there are today. And the people could not watch fast *jets streak across* the sky.

At first, men tried to find a way to fly like birds, and they made machines with flapping wings. Nearly 500 years ago, Leonardo da Vinci, whom we know is a great Italian painter, *dreamed* of flying. He built a huge "*bird-like*" machine with four wings of *starched* linen. Da Vinci dreamed of it sailing over the earth. Astro, his chief helper, was also anxious to fly. Although he had been told not to do so, one day when da Vinci was away, Astro carried the machine to the top of the *workshop*, strapped it to his back and jumped. But down he fell into a *broken heap*.

Then a Frenchman named Joseph Montgolfier made a balloon. He had watched smoke and how it always went up. This gave him an *idea*. When he tried his idea, he found that smoke would make a cloth bag *rise up into* the air. So, Joseph and his brother, tried many different balloons and in June of 1783, the two brothers made their first public flight of a balloon. In September of the same year, they made a balloon that was big enough *to lift* three animals—a sheep, a *rooster* and a duck.

When the people saw these balloons flying, they did not know what to do. Some of them *prayed*, some of them ran in fright, while others attacked the balloons when they landed. But when people began to find out how the balloons worked, they began to wonder if they too could fly.

At first, the King of France, Louis XVI, said that no one would be *allowed* to risk his life in a *trial* flight. But the people of France made such a protest against the king's order, that he *withdrew* his *objection*.

Many men volunteered for the first "*manned-flight*". But a doctor named de Rozier went, so that he could find out if the air was *poisonous*. At that time, many of the people thought that the air *over the earth* was poisonous.

On November eleventh, 1783, de Rosier and a companion *took off* in a huge smoke filled balloon. They sailed off into the air, "*free as a bird*", to make man's first successful space flight. This is the story of how two *brave* men started the *age of flight*. Today, just 175 years later, we are in a new age—THE SPACE AGE.

5. TO FLY

4. Ask if there are any questions, then review.

5. *Read the fourth section of the story again, read the whole story again* and use the remainder of the time of the story. Ask if there are words or phrases they don't understand. Explain about the new month ahead and the next SEITO NO MICHI book.

10. TO WITHDRAW

MONTH'S STUDY LIST

VERBS

to fly (fligh , flying)
to dream
to starch
to carry
to watch
to lift
to allow (allowed)
to withdraw (withdrew)
to take off (took off)

Word

chief — omona
work shop — shigotobá
balloon — keikikyū
idea — kangáe
public — ōyake no
rooster — ondori
trial — kokoromi
objection — hantái
poisonous — dokú
brave — isamashii
age — jidai
companion — nakamá

IDIOMS

streak across
over the world
flapping wings
bird like
use up into
manned flight
over the earth
free as a bird
space age

2. BLUE
3. TO FLY
4. BIRD
5. TO WATCH
6. IDEA

IV. MARCH 28

1. Ask for the "themes" that the students were to write about the sky. Read them out loud and correct any mistakes and pronounce difficult words.
2. *The teacher will read the fourth part of the Story - LISTEN CAREFULLY.*
3. **IMPERATIVE SENTENCES** - *Regular and polite commands.*
 - a. *For a command use the simple form of the verb:*
(You) LUK! RUN! STOP! SING!
the subject you is understand.
 - b. **TO BE MORE POLITE** *use please with the verb.*
PLEASE, LOOK.
PLEASE, RUN.
PLEASE, STOP.
PLEASE, SING.
 - c. *We use LET US (let's) before the verb to show that the one speaking (I) is also included. This form is "softer" in tone than the single word command, it is more of a suggestion than a command.*

EXERCISE: *With the verbs below make 3 different sentences and add an extra clause at the and if possible.*

- A. *One with the simple form of the command.*
- B. *One with please.*
- C. *One with LET'S.*
- D. **EXTRA CLAUSE.**

EXAMPLE: FLY

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| A. FLY! | D. LET'S FLY THIS AIRPLANE |
| B. PLEASE FLY | E. OR USE THE PAST PARTICIPLE. |
| C. LET'S FLY
LET'S GO FLYING. | |

To

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ODREAM | 6. TO SLEEP |
| 2. TO PLAY | 7. TO RUN |
| 3. TO STOP | 8. TO SING |
| 4. TO CARRY | 9. TO STOP |

GO	GO-ING	GOING
PRAY	PRAY-ING	PRAYING

-IF THE ACTION VERB ENDS IN E, WE LEAVE OFF THE E AND ADD ING.

LEAVE	LEAV(E)ING	LEAVING
BELIEVE	BELIEV(E)ING	BELIEVING

-TO MAKE A CORRECT PAST PARTICIPLE SENTENCE, we use the correct form of the "helping verb" (auxiliary verb) BE and then add the present participle of the action verb. The present participle verb will express the action of a sentence.

SUBJECT	HELPING	P.P.-ING	COMPLIMENT
I	am	singing	a song
No, they	're	not going	to the store

EXERCISE

a. Use the correct form of BE in these sentences. Practice using constructions.

EXAMPLE: THEY _____ PEOPLE THEY ARE PEOPLE.

1. He _____ going home.
2. The people _____ singing songs.
3. They _____ playing games.
4. The horses _____ big.
5. We _____ hungry.
6. The boy _____ flying a kite.

Fill in the blanks.

b. Complete these questions with an ING word (present participle) a compliment, or a form of TO BE.

EXAMPLE: Miss Smith is _____, _____.
teaching the class.

1. The girl is _____ the airplane.
 2. Mr. Young is singing _____.
 3. THE LADIES _____ sewing the dress.
 4. The balloons are _____ in the sky.
 5. Miss Smith _____ going _____.
 6. The bird _____ flying _____.
3. Read the third section of the story again and have the class participate.
4. For next week write a short talk about the sky so we can read it in class and help you.

USE THE SIXWORDS if you can:

1. WIND

2. IS THE AIRPLANE _____?
3. IS THE LADY _____?
4. IS THE BALLOON _____?
5. ARE THE ROOSTERS _____?
6. ARE THE PEOPLE _____?
7. IS THE BIRD _____?
8. ARE THEY _____?

3. THE.....the definite article.

- a. *We omit (leaveout) the definite article THE before the name of a person, when the name has a title in front of it _____ MR, MRS, Miss, Dr. or when it is the name of a city, a state or a language.*

EXAMPLE: **THE** woman is COLD.

_____MISS SMITH IS COLD.

THE LANGUAGE IS DIFFICULT.

_____JAPANESE IS DIFFICULT.

EXERCISE: *Complete these sentences for the teacher.*

1. _____ has an idea.
 2. The _____ has an idea.
 3. The _____ flies.
 4. _____ can not sing.
 6. The _____ can not sing.
4. Read the second section of the story again, say the sentences and words over together.

III MARCH 21

1. As the teacher reads the third part of the story...**FOLLOW AND LISTEN CAREFULLY.**
2. *ING is the present participle.*
 - a. *ING is the present tense and tells of an action that is happening at the present time.*
 - b. *To make the present participle with ING.*
-TO FORM the present participle, you put ING on the end OF THE ACTION VERB.

verb. We use an (') apostrophe to show where a letter is missing. However, there is no contraction when we ask questions.

(INTERROGIATIVE SENTENCES).

EXAMPLE: ARE YOU A DOCTOR? Yes, I'm a doctor.

5. Read the first section of the story again. (encourage class participation and reading.)

II. MARCH 14

Listen as the teacher

1. Reads the Second Section of the story for you. **LISTEN CARE FULLY.**

2. *At* is a preposition of place

- a. Say these sentences.

at home	at the store
at school	at the bank
at church	at the airport

- b. *When the place you are at belongs to you, you do not have to use THE, but sometimes we use both.*

- c. *AT is used with the names of places and tells where something or someone is located.*

1. I am at school.
2. They are at church.
3. She is at the store.

- d. *We sometimes use expressions with at and do not use a subject or article. for example:*

Where are you?	At home.
	I'm at home.

EXERCISE-Complete each question below with a phrase that uses *AT*. Then answer the question in the negative and add a Positive sentence.

Use contractions like we talked about last week.

EXAMPLE:

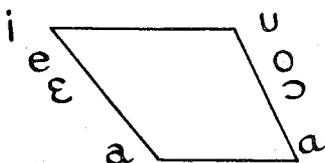
IS THE MAN AT THE BANK? NO, **HE'S NOT AT THE BANK.**
HE IS AT HOME.

1. IS THE GIRL _____ ?

SEITO NO MICHU
MARCH-ENGLISH PLAN

1. MARCH 7

1. Review the VOWEL SOUNDS for pronunciation from lesson 1 (JANUARY).



i-it, hit	u-foot, cook
e-pen, red	o-cold, sold
ε-pair, care	ɔ-top, flop
a-night, eye	a-far, car

2. The teacher will read the story through once for the class. LISTEN CAREFULLY.
3. The PRESENT TENSE of TO BE (In January we talked about the verb TO BE.)
 - a. TO BE is an irregular verb and BE is the simpl form of the verb that we find in the dictionary.
 - b. The subject pronouns of TO BE are I, YOU, HE, SHE, IT, WE, YOU AND THEY.
 - c. 'P IS ALWAYS CAPITALIZED. YOU CAN EITHER BE SINGULAR OR PLURAL. AND THEY CAN MEAN BOTH THINGS AND PEOPLE-AND ANIMALS.

EXERCISE-REPEAT THESE SENTENCES AFTER THE TEACHER AND FILL IN THE BLANKS.

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. I am an American. | 1. I'm an American |
| 2. You are a JAPANESE. | 2. You're a JAPANESE |
| You are all JAPANESE. | You're all JAPANESE |
| 3. She is a students | 3. She's a student |
| 4. He is a dreamer. | 4. He's a dreamer |
| 5. It is rooster. | 5. It's rooster |
| 6. We are students. | 6. We're students. |
| 7. They are balloons. | 7. They're balloons. |
| 8. They are People. | 8. They're people. |
4. In general conversation we contract the subject pronoun and the

図 書 案 内

教義と聖約の 88 章 118 節にはこう書いてあります。『それは必ずしもすべての人信仰なきが故に汝ら努めて求め、互いに智恵ある言葉を教うべし。然り汝ら最も善き書より智恵ある言葉を探し求めよ、また正に研究と信仰とによりて学問を求むべし。』

これは私たちが善い本を研究します様に、神様が私たち会員に与えて下さった。一つの誠命であります。

「善き書」と書いてありますね。教会の本よりも人のためになる本はありませんでしょうね。

下記伝道本部に預っている書物がそろっています。どうぞ支部の方、皆様のご注文をお待ちしております。

伝道部図書係 フィルモア長老

ENGLISH LITERATURE

1. Bible, Cambridge Missionary	4450
2. Bible, Cambridge Missionary (w/ind)	4850
3. Book of Mormon	200
4. D. & C., P of G.P	400
5. Triple Combination	2900
6. Ancient Apostles	200
7. Are We of Israel	100
8. Articles of Faith (limp)	300
9. Articles of Faith (hard)	900
10. Combination Reference	400
11. Doctrine and Covenants Commentary	1400
12. Distinguishing Beliefs	200
13. Divine Church Restored	250
14. Divine Church, Vol. II	250
15. Essentials in Church History	1450
16. Great Apostasy	200
17. Marvelous Work and A Wonder	650
18. Jesus The Christ	1100
19. Cody Mural Booklet	200
20. The Mormon Story	850

図
書
案
内

教義と聖約 高価なる真珠 モルモン経	上質革製合本	1 1 0 0 円
教義と聖約 高価なる真珠 モルモン経 (新訳)	合本	3 0 0 円
信仰箇条の研究		3 3 0 円
モルモンとは? (新版)		1 5 0 円
完成への道		2 0 0 円
初等協会教科書		1 5 0 円
総合聖句の手引		1 5 0 円
日本系図探究要覧		1 0 0 円
アロン神権者用学科課程		1 5 0 円
メルゲゼデク神権、教師と生徒用 「モルモン経の読み方の手引」		2 0 0 円
ナザレのイエス		1 0 0 円
正しい日本史		1 0 0 円
家督権の祝福		1 0 0 円
扶助協会手引		5 0 円
料理の作り方		5 0 円
求道者教育法		1 2 0 円

日曜学校用

旧約聖書物語	1 5 0 円
家族の昇栄	2 0 0 円
福音の実践	2 0 0 円
奇しきみわざ	2 0 0 円
我等の標準聖典	2 0 0 円
古代の使徒	1 5 0 円
福音の紹介	2 0 0 円
シオン山の救い手たち	2 0 0 円
教義と聖約の教え	2 0 0 円

M I A 用

我らは奉仕する	1 5 0 円
生活の目標	1 5 0 円
モルモン経研究ガイド	1 0 0 円
M I A ・エンサイン・ローレルの手引	1 5 0 円
演説が上手になる法	1 5 0 円
素晴しき考え	2 0 0 円

讃美歌及び歌集

末日聖徒讃美歌 (新版)	4 0 0 円
子等は歌う	1 0 0 円
レクリエーション歌集	4 0 0 円

.....注文は各支部長へ.....

支部所在地

北海道地方部

旭川

旭川市八条五丁目
MIA集会场 旭川公会堂

電話(二一五五四)

室蘭

室蘭市幸町八九
電話(七〇五四)

小樽

小樽市富岡町一ノ三五
電話(二一八二四)

札幌

札幌市北二条西二丁目

東中央地方部

群馬

高崎市並榎町二七五

甲府

甲府市山田町六三

松本

松本市同心町六一二

新潟

新潟市中大畑町五五七
電話(二一八六六〇)

仙台

仙台市光禪寺通り二八
電話(五一〇八九七)

東京中央

東京都港区青山北町六ノ三四
電話(四〇二一四〇一〇、四〇八一三三〇七)

東京北

東京都豊島区高田本町二ノ一四八七
集会场 日曜学校 武蔵野ドレメ
MIA 徳川生物研究所

東京東支部

東京都江戸川区小岩町四一七五〇

東京南

東京都大田区南千束町二四九
電話(七八二一六一三二)

東京西

東京都港区青山北町六ノ三四
電話(四〇二一四〇一〇)

山形

山形市八日市八五〇

横浜

横浜市港北区篠原町二九
電話(四九一八七七二)

西中央地方部

阿倍野

大阪市阿倍野区阪南町中一ノ三八

福岡

福岡市東菜院二ノ四〇

広島

広島市古田町古江四〇〇ノ三
電話(三一六一二五)

金沢

金沢市成瀬町二ノ四 野田方
集会场 農業センター

京都

京都市左京区松ヶ崎桜木町一四
名古屋市中区和区北山町三ノ四一
電話(七三二四二〇〇)

名古屋

兵庫県西ノ宮市仁川町四ノ五四
電話(五一〇一四一)

岡田

大阪府豊中市岡田北二ノ一八

岡山

岡山市浜字下六ノ坪五五三ノ四
神戸市灘区篠原本町四ノ三五
電話(八六一二六〇二)

柳井

山口県柳井市今市三九一

沖繩地方部

沖繩宜野灣村野嵩区三二八
沖繩那覇市松尾区一三九